

新たな機能評価係数に係る特別調査について

(案)

中医協基本問題小委員会及びDPC評価分科会における、「新たな機能評価係数」に係る議論の結果、「医療機関の負担が少なく速やかにデータを把握することが可能なもの」については、今後、追加で調査を行い、実態を把握することになっている。

このため、以下の要領で特別調査を実施することとしてはどうか。

1. 調査の対象及び方法

全DPC対象病院及びDPC準備病院に対し、アンケート調査を実施

2. 調査の時期

平成21年7月の1週間

3. 調査項目

(1) 救急医療の診療体制について

- ① 救急医療の提供レベル等
(1次救急/2次救急/3次救急、常時/輪番日のみ等)
- ② 救急医療の提供体制
(診療科名、夜間勤務体制等)

(2) 診療ガイドラインを考慮した診療体制確保について

- ① 治療方針の決定に当たり、診療ガイドラインを参考としている程度
- ② 患者に対する治療方針の説明等での、診療ガイドラインの利用の程度
- ③ 実際に参考としている診療ガイドラインの名称
- ④ 参考としている診療ガイドラインの選択基準
- ⑤ 診療ガイドラインに沿わない診療を行う場合の、適否の判断方法
(病院として設置する委員会判断/複数診療科によるカンファレンスで判断/診療科毎のカンファレンスで判断/担当医師の判断等)
- ⑥ 患者及び職員が、診療ガイドラインを閲覧できる体制の整備状況

(3) クリニカルパス(院内)を用いた診療について

- ① 作成しているクリニカルパス(院内)の種類、病名等
- ② クリニカルパス(院内)の対象となる患者数

(4) 医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、社会福祉士等の人員配置(チーム医療)について

- ① 医師を含む複数職種によるカンファレンス等の開催状況
- ② 病棟に勤務している薬剤師、管理栄養士、社会福祉士等の人数(常勤換算)
- ③ 病棟に勤務している薬剤師、管理栄養士、社会福祉士等について、全勤務時間のうち病棟に勤務している時間の割合

DPC評価分科会における 新たな「機能評価係数」の絞り込みについて(案)

I. 次期改定での導入が妥当と考えられた項目

項目	評価指標の例
1 DPC病院として正確なデータを提出していることの評価 (正確なデータ提出のためのコスト、部位不明・詳細不明コードの発生頻度、様式1の非必須項目の入力割合等)	① 部位不明・詳細不明コード/全DPC対象患者 ② 様式1の非必須項目の入力患者数/非必須項目の対象となる患者数 ③ DPC調査において、データ提出の遅滞があった回数
2 効率化に対する評価 (効率性指数、アウトカム評価と合わせた評価等)	① 全DPC対象病院の平均在院日数 / 当該医療機関の患者構成が、全DPC対象病院と同じと仮定した場合の平均在院日数 (再入院調査の結果と合わせて評価)
3 複雑性指数による評価	① 当該医療機関の各診断群分類毎の在院日数が、全DPC対象病院と同じと仮定した場合の平均在院日数 / 全病院の平均在院日数
4 診断群分類のカバー率による評価	① 当該医療機関で(一定数以上の)出現した診断群分類の数 / 全診断群分類の数

II. 次期改定での導入を検討するため、更にデータ分析や追加の調査を実施すべきとされた項目

項目	評価指標の例
1 救急・小児救急医療の実施状況及び救急における精神科医療への対応状況による評価	①-1 救急車で搬送され入院した患者数 ①-2 救急車で搬送され入院した患者数 / 全DPC対象患者 ①-3 救急車で搬送され入院した患者数 / 当該医療機関の所属する2次医療圏の人口 ②-1 入院初日に初診料の時間外・深夜・休日加算が算定されて入院した患者数 ②-2 入院初日に初診料の時間外・深夜・休日加算が算定されて入院した患者数 / 全DPC対象患者 ②-3 入院初日に初診料の時間外・深夜・休日加算が算定されて入院した患者数 / 当該医療機関の所属する2次医療圏の人口 ③-1 緊急入院の小児の患者数 ③-2 緊急入院の小児の患者数 / 全DPC対象患者 ④-1 救急車で搬送され入院した患者で、入院精神療法又は救命救急入院料において精神保健指定医が診療した場合の加算が算定されている患者数 / 全DPC対象患者 ④-2 入院初日に初診料の時間外・深夜・休日加算が算定されて入院した患者で、入院精神療法又は救命救急入院料において精神保健指定医が診療した場合の加算が算定されている患者数 / 全DPC対象患者 ⑤ 複数の診療科における24時間対応体制
2 患者の年齢構成による評価	① 年齢構成指数 (全DPC対象病院のデータを基に、各年齢層の疾病構成が同じと仮定した場合の、年齢階級別の1入院あたり医療資源の投入量を指数化する。その指数を用いて、各医療機関の患者の年齢構成による医療資源の投入量の差異を表す)
3 診療ガイドラインを考慮した診療体制確保の評価	① 診療ガイドラインを明示して、患者へ治療方針の説明を行っているか否か ② 診療ガイドラインから逸れた診療を行う場合、十分に検討をするための委員会等が設置されているか否か ③ 患者及び職員が、診療ガイドラインを閲覧できる体制・設備が整備されているか否か
4 医療計画で定める事業等について、地域での実施状況による評価	① 3疾病(4疾病から糖尿病を除く)による入院患者数 ② 3疾病(4疾病から糖尿病を除く)による入院患者数 / 全DPC対象患者 ③ 3疾病(4疾病から糖尿病を除く)による入院患者数 / 当該医療機関の所属する2次医療圏の人口
5 医師、看護師、薬剤師等の人員配置(チーム医療)による評価	① 病院に勤務している各職種の職員数 / 全DPC対象患者 ② 病棟に勤務している各職種の職員数 / 全DPC対象患者
6 医療の質に係るデータを公開していることの評価	① 特定のデータ(医療の質の評価等につながる項目)の公表を行っているか否か。

○:DPCデータで集計が可能な指標

●:特別調査を行う等で医療機関の負担が少なく速やかにデータを把握することが可能と考えられる指標

慢性期入院医療の包括評価調査分科会の課題等について

1. 短期

平成 22 年診療報酬改定に向け、既存のデータを用いて、以下の検討を行う。

- 患者分類の妥当性の検証
- 各医療機関における分類の適切性の検証
- 提供されている医療サービスの質の検証

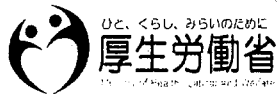
2. 中・長期

医療療養病床と機能が近接している病床等を含め、慢性期医療に係る調査・分析を行う。

その際、慢性期医療の定義・範囲を明確にしておく必要があるが、現時点では、さしあたり一般病床の一部から介護保険施設の一部までが想定される。

当面は、このうちの一般病床に係る部分から検討することとし、その結果を踏まえて、慢性期医療の定義・範囲についてもあらためて検討する。

一連の検討結果は、適宜、基本問題小委員会に報告し、そこでいただいた意見をさらに反映させながら慎重に調査・分析を進めることとしたい。



Press Release

目 次

平成21年6月25日
 厚生労働省大臣官房統計情報部社会統計課
 課長 篠原 一正
 課長補佐 佐藤 恵治
 調査全般 : 社会医療統計第一係 (内線: 7559)
 医科担当係 : 社会医療統計第五係 (内線: 7563)
 歯科担当係 : 社会医療統計第六係 (内線: 7564)
 薬剤・調剤担当係 : 社会医療統計第三係 (内線: 7561)
 電話 : 03-5253-1111 (代表)
 03-3595-2918 (ダイヤル)
 FAX : 03-3595-1639

平成20年社会医療診療行為別調査結果の概況

【調査結果のポイント】

- 医科の入院における診療の状況
1件当たり点数 42 402.3 点(対前年 6.9%増)、1日当たり点数 2 537.0 点(対前年 2.4%増)
- 医科の入院外における診療の状況
1件当たり点数 1 376.7 点(対前年 12.2%増)、1日当たり点数 759.9 点(対前年 11.7%増)
- 歯科における診療の状況
1件当たり点数 1 285.5 点(対前年 4.0%減)、1日当たり点数 607.4 点(対前年 0.1%増)
- 医科(薬局調剤分を含む)の薬剤料の比率
総数 29.0%(対前年 0.3ポイント増)、
入院 11.1%(対前年 0.03ポイント減)、入院外 36.2%(対前年 0.4ポイント減)
- 薬剤種類数に占める後発医薬品の種類数の割合
総数 20.5%(対前年 1.2ポイント増)、入院 17.3%(対前年 0.1ポイント増)、
院内処方(入院外・投薬) 25.0%(対前年 0.6ポイント増)、
院外処方(薬局調剤) 18.3%(対前年 1.9ポイント増)

平成20年社会医療診療行為別調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。
 ホームページアドレス (<http://www.mhlw.go.jp/>)

調査の概要	1
結果の概要	
I 診療行為・調剤行為の状況	
〔医科診療〕	
1 診療行為の状況	3
2 一般医療と長寿医療別にみた診療行為の状況	5
3 病院と診療所別にみた診療行為の状況	9
4 DPCに係る明細書とDPCに係る明細書以外別にみた診療行為の状況	11
5 傷病分類別にみた1日当たり点数	13
〔歯科診療〕	
6 診療行為の状況	14
7 一般医療と長寿医療別にみた診療行為の状況	15
8 傷病分類別にみた1日当たり点数	16
〔院外処方〕	
9 院外処方率	16
〔薬局調剤〕	
10 調剤行為の状況	17
11 一般医療と長寿医療別にみた調剤行為の状況	18
II 薬剤の使用状況	
1 薬剤料の比率	19
2 院内処方(入院外・投薬)及び院外処方(薬局調剤)における薬剤点数	20
3 薬価階級別薬剤点数	21
4 薬剤種類数	22
5 薬効分類別にみた薬剤の使用状況	23
6 後発医薬品の使用状況	24
統計表	25
用語の定義	34

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、政府管掌健康保険（以下、「政管健保」という。）、組合管掌健康保険（以下、「組合健保」という。）、国民健康保険（以下、「国保」という。）及び長寿医療制度における医療の給付の受給者にかかる診療行為の内容、傷病の状況、調剤行為の内容及び薬剤の使用状況等を明らかにし、医療保険行政に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の範囲

各都道府県の社会保険診療報酬支払基金支部（以下、「支払基金支部」という。）及び国民健康保険団体連合会（以下、「国保団体連合会」という。）において、審査決定された政管健保、組合健保、国保及び長寿医療制度の医科診療及び歯科診療の診療報酬明細書及び調剤報酬明細書（以下、「明細書」という。）を調査の対象とした。

調査の客体は、第一次抽出単位を保険医療機関及び保険薬局とし、第二次抽出単位を明細書とする層化無作為二段抽出法により抽出された明細書とした。

（集計客体数）

	施設数	明細書件数		
		総数	一般医療	長寿医療
医科	11 134	373 738	239 256	134 482
病院	1 414	136 288	93 601	42 687
診療所	9 720	237 450	145 655	91 795
歯科	972	29 592	19 615	9 977
調剤	4 679	73 715	45 492	28 223

3 調査の時期

平成20年6月審査分

4 調査の事項

診療報酬明細書 …… 年齢、傷病名、診療実日数、診療行為別点数・回数及び薬剤の使用状況（薬品名・使用量等）等

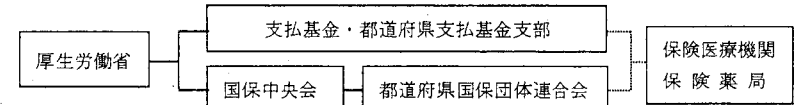
調剤報酬明細書 …… 年齢、処方せん受付回数、調剤行為別点数・回数及び薬剤の使用状況（薬品名・使用量等）等

5 調査の方法及び系統

(1) 調査の方法

支払基金支部及び国保団体連合会が、調査の対象となった保険医療機関及び保険薬局の明細書から別に定める抽出率により抽出を行い、その写しを厚生労働省大臣官房統計情報部に提出する方法により行った。

(2) 調査の系統



6 結果の集計

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

7 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—	数値が表章単位に満たない場合	0.0
統計項目のありえない場合	・	負数の場合	△
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…		

(2) 掲載の数値は四捨五入のため、内訳の合計が総数に合わない場合等がある。

(3) この概況に掲載の数値は、政管健保（※）、組合健保、国保及び長寿医療制度における平成20年6月審査分の全国推計数である。

※政管健保については、健康保険法等の一部を改正する法律（平成18年法律第83号）により、平成20年10月より「全国健康保険協会管掌健康保険」に改称された。

(4) 診療行為分類「診断群分類による包括評価等」には、包括評価（DPC）の所定点数に、特定入院料に関する加算を含む。

(5) 平成20年4月から診療報酬改定により、医科及び歯科の「病理診断」が「検査」より独立した。

結果の概要

I 診療行為・調剤行為の状況

【医科診療】

1 診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は42,402.3点で、前年に比べ2,729.4点、6.9%増加している。

1日当たり点数は2,537.0点で、前年に比べ58.6点、2.4%増加している。診療行為別にみると、「入院料等」1,258.4点(構成割合49.6%)が最も高く、次いで「手術」360.8点(14.2%)、「診断群分類による包括評価等」359.0点(14.1%)の順となっている。

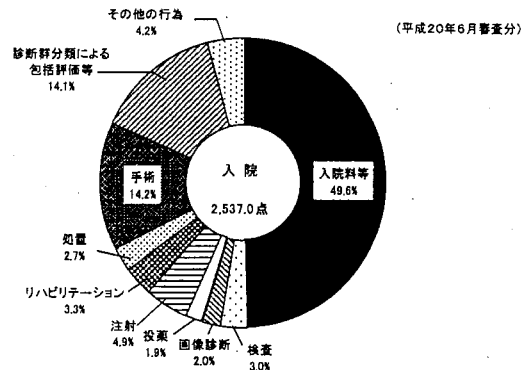
1件当たり日数は16.71日で、前年に比べ0.70日増加している。(表1、図1)

表1 診療行為別にみた入院の1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成20年(2008)		平成19年(2007)		平成20年(2008)		平成19年(2007)	
	増減点数	増減率(%)	増減点数	増減率(%)	増減点数	増減率(%)	増減率(%)	
総数	42,402.3	39,672.9	2,729.4	6.9	2,537.0	2,478.4	58.6	2.4
初再診	44.2	46.4	△ 2.2	△ 4.7	2.6	2.9	△ 0.3	△ 8.7
医学管理等	343.6	326.8	16.9	5.2	20.6	20.4	0.1	0.7
在宅医療	61.3	67.5	△ 6.2	△ 9.2	3.7	4.2	△ 0.6	△ 13.0
検査	1,289.7	1,505.7	△ 216.9	△ 14.4	77.1	94.1	△ 17.0	△ 18.0
画像診断	848.2	930.3	△ 82.1	△ 8.8	50.7	58.1	△ 7.4	△ 12.7
投薬	804.5	816.8	△ 12.3	△ 1.5	48.1	51.0	△ 2.9	△ 5.7
注射	2,090.3	2,113.9	△ 23.5	△ 1.1	125.1	132.1	△ 7.0	△ 5.3
リハビリテーション	1,401.1	1,275.7	125.4	9.8	83.8	79.7	4.1	5.2
精神科専門療法	228.9	207.0	22.0	10.6	13.7	12.9	0.8	5.9
処置	1,131.4	1,032.5	98.8	9.6	67.7	64.5	3.2	4.9
手術	6,031.0	5,331.4	699.5	13.1	360.8	333.1	27.8	8.3
麻酔	904.4	795.0	109.4	13.8	54.1	49.7	4.4	9.0
放射線治療	92.5	179.3	△ 86.8	△ 48.4	5.5	11.2	△ 5.7	△ 50.6
病理診断	99.8	6.0
入院料等	21,032.8	20,328.2	704.6	3.5	1,258.4	1,269.9	△ 11.5	△ 0.9
診断群分類による包括評価等	5,999.3	4,716.6	1,282.7	27.2	359.0	294.6	64.3	21.8
(1件当たり日数)	(16.71)	(16.01)						
入院時食事療養等(単位:円)	29,112	27,842	1,269	4.6	1,742	1,739	2	0.1

注:「総数」には「入院時食事療養等」を含まない。

図1 診療行為別にみた入院の1日当たり点数の構成割合



注:「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」「放射線治療」及び「病理診断」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は1,376.7点で、前年に比べ149.2点、12.2%増加している。

1日当たり点数は759.9点で、前年に比べ79.5点、11.7%増加している。診療行為別にみると、「投薬」145.7点(構成割合19.2%)が最も高く、次いで「処置」141.6点(18.6%)、「初・再診」119.0点(15.7%)の順となっている。

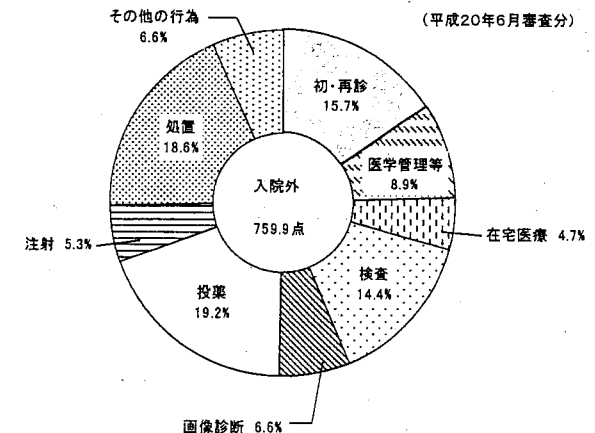
1件当たり日数は1.81日で、前年に比べ0.01日増加している。(表2、図2)

表2 診療行為別にみた入院外の1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成20年(2008)		平成19年(2007)		平成20年(2008)		平成19年(2007)	
	増減点数	増減率(%)	増減点数	増減率(%)	増減点数	増減率(%)	増減率(%)	
総数	1,376.7	1,227.5	149.2	12.2	759.9	680.4	79.5	11.7
初・再診	215.5	229.0	△ 13.5	△ 5.9	119.0	126.9	△ 8.0	△ 6.3
医学管理等	121.9	119.3	2.6	2.2	67.3	66.1	1.1	1.7
在宅医療	65.3	58.5	6.8	11.7	36.1	32.4	3.6	11.2
検査	198.9	197.8	1.1	0.5	109.8	109.6	0.1	0.1
画像診断	90.8	84.7	6.1	7.2	50.1	47.0	3.2	6.8
投薬	263.9	256.4	7.5	2.9	145.7	142.1	3.6	2.5
注射	72.3	66.7	5.7	8.5	39.9	37.0	3.0	8.0
リハビリテーション	12.1	8.5	3.6	42.2	6.7	4.7	2.0	41.6
精神科専門療法	30.3	23.6	6.7	28.2	16.7	13.1	3.6	27.7
処置	256.6	148.1	108.5	73.3	141.6	82.1	59.5	72.5
手術	29.5	26.1	3.4	13.1	16.3	14.5	1.8	12.6
麻酔	7.1	5.7	1.5	26.1	3.9	3.1	0.8	25.6
放射線治療	4.1	3.1	1.0	33.8	2.3	1.7	0.6	33.3
病理診断	8.0	4.4
(1件当たり日数)	(1.81)	(1.80)						

注:「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料)」を含む。

図2 診療行為別にみた入院外の1日当たり点数の構成割合



注:「その他の行為」は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」「病理診断」及び「入院料等」である。

2 一般医療と長寿医療別に見た診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は、一般医療 40,177.3 点、長寿医療 44,961.1 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 2,781.1 点、長寿医療 2,327.2 点で、年齢階級別にみると、「0～14 歳」4,052.6 点が最も高く、次いで「65～74 歳」2,833.6 点となっており、「75 歳以上」2,337.8 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、長寿医療は、一般医療と比べ「入院料等」「処置」の割合が高く、「手術」「診断群分類による包括評価等」の割合は低くなっている。

1件当たり日数は、一般医療 14.45 日、長寿医療 19.32 日となっている。(表3、図3・4)

表3 一般医療 - 長寿医療 - 年齢階級別にみた入院の診療行為別
1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

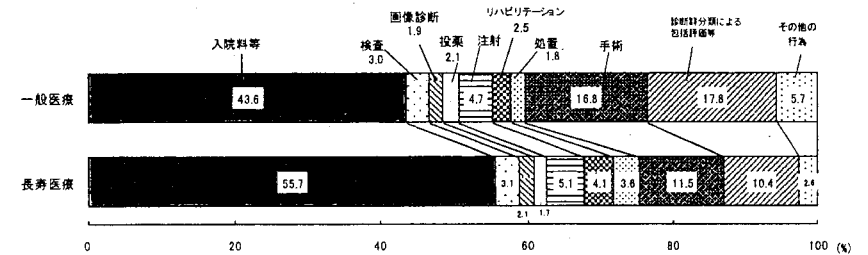
(平成20年6月審査分)

診療行為	一般医療	長寿医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
		1	件 当 た り 点 数				
総数	40 177.3	44 961.1	28 654.5	29 846.3	42 569.3	46 548.7	44 605.9
初診	48.1	39.8	108.5	53.3	41.8	33.6	41.8
再診	365.5	318.5	133.0	308.6	400.4	393.0	320.3
医学管理	63.6	58.6	51.3	37.4	68.0	77.8	56.2
在宅医療	1 199.8	1 391.0	549.4	887.3	1 212.5	1 479.7	1 405.3
検査	774.0	933.5	168.1	417.3	851.2	983.3	950.5
画像診断	830.3	774.8	245.8	551.9	1 009.8	921.6	756.7
投薬	1 905.3	2 303.1	1 318.9	1 133.8	1 929.7	2 401.4	2 322.2
注射	997.8	1 864.9	173.9	424.6	1 072.6	1 451.6	1 898.8
リハビリテーション	327.7	115.4	5.2	352.8	447.0	257.2	96.7
精神科専門療法	709.5	1 616.6	482.5	590.8	810.9	1 163.6	1 474.1
処置	6 766.7	5 184.9	2 311.8	4 228.5	7 036.9	8 422.7	5 152.4
手術	1 248.2	509.1	1 112.3	1 189.0	1 260.0	1 177.5	500.7
麻酔	114.4	67.3	1.5	21.4	131.4	156.6	66.9
放射線治療	126.8	68.7	13.7	100.8	137.3	135.6	71.7
病理診断	17 531.0	25 059.9	13 585.2	14 626.8	19 293.1	19 629.2	24 851.2
入院料等	7 168.6	4 654.5	8 393.4	4 921.6	6 866.7	7 864.1	4 640.0
診断群分類による包括評価等							
		1	日 当 た り 点 数				
総数	2 781.1	2 327.2	4 052.6	2 568.8	2 565.6	2 833.6	2 337.8
初診	3.3	2.1	15.3	4.6	2.5	2.0	2.2
再診	25.3	16.5	18.8	26.6	24.1	23.9	16.8
医学管理	4.4	3.0	7.3	3.2	4.1	4.7	2.9
在宅医療	83.0	72.0	77.7	76.4	73.1	90.1	73.6
検査	53.6	48.3	23.8	35.9	51.3	59.9	49.8
画像診断	57.5	40.1	34.8	47.5	60.9	56.1	39.7
投薬	131.9	119.2	186.5	97.6	116.3	146.2	121.7
注射	69.1	96.5	24.6	36.5	64.6	88.4	99.5
リハビリテーション	22.7	6.0	0.7	30.4	26.9	15.7	5.1
精神科専門療法	49.1	83.7	68.2	50.9	48.9	70.8	77.3
処置	468.4	268.4	327.0	363.9	424.1	512.7	270.0
手術	86.4	26.4	157.3	102.3	75.9	71.7	26.2
麻酔	7.9	3.5	0.2	1.8	7.9	9.5	3.5
放射線治療	8.8	3.6	1.9	8.7	8.3	8.3	3.8
病理診断	1 213.5	1 297.1	1 921.3	1 258.9	1 162.8	1 194.9	1 302.4
入院料等	496.2	240.9	1 187.1	423.6	413.9	478.7	243.2
診断群分類による包括評価等							
	14.45	19.32	7.07	11.62	16.59	16.43	19.08
入院時食事療養等(単位:円)							
1件当たり金額	24 870	33 989	8 985	19 050	29 213	29 315	33 356
1日当たり金額	1 722	1 759	1 268	1 640	1 761	1 785	1 748

注:「総数」には「入院時食事療養等」を含まない。

図3 一般医療 - 長寿医療別に見た入院の診療行為別1日当たり点数の構成割合

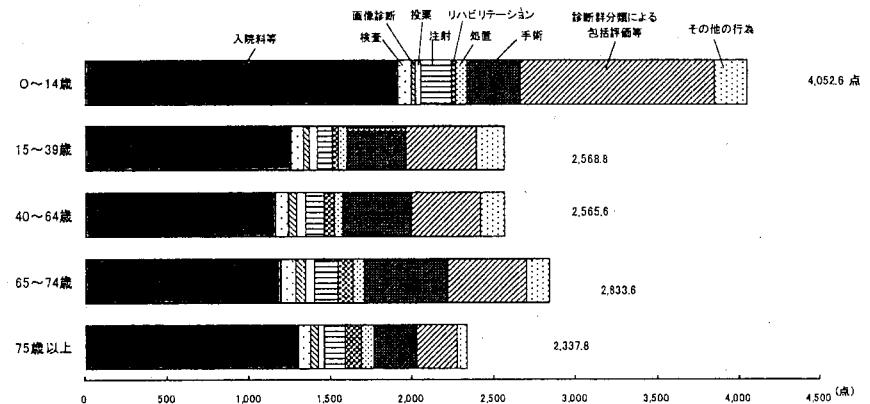
(平成20年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」「放射線治療」及び「病理診断」である。

図4 年齢階級別にみた入院の診療行為別1日当たり点数

(平成20年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」「放射線治療」及び「病理診断」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は、一般医療 1,212.7 点、長寿医療 1,902.6 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 720.7 点、長寿医療 855.1 点で、年齢階級別にみると、「40～64 歳」895.4 点が最も高く、次いで「65～74 歳」824.2 点となっており、「0～14 歳」490.3 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、長寿医療は、一般医療と比べ「在宅医療」「処置」の割合が高く、「初・再診」「検査」の割合は低くなっている。

1件当たり日数は、一般医療 1.68 日、長寿医療 2.23 日となっている。(表4、図5・6)

表4 一般医療 - 長寿医療 - 年齢階級別にみた入院外の診療行為別
1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

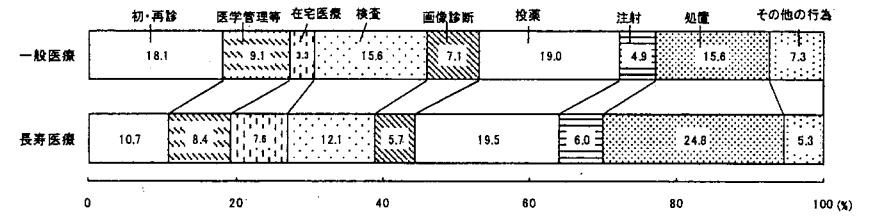
(平成20年6月審査分)

診療行為	一般医療	長寿医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
総数	1 212.7	1 902.6	775.9	874.7	1 528.5	1 632.0	1 639.0
初・再診	219.3	203.4	288.0	230.2	200.7	198.3	199.8
医学管理等	109.8	160.6	156.4	31.4	119.6	148.1	146.6
在宅医療	40.4	145.1	25.2	21.7	53.4	65.8	132.5
検査	189.2	229.7	99.2	175.9	208.9	230.3	227.8
画像診断	85.8	107.8	28.2	65.1	102.3	115.1	106.7
投薬	230.7	370.7	103.5	156.5	271.3	322.2	364.9
注射	59.5	113.4	6.1	26.4	87.1	88.9	107.7
リハビリテーション	10.3	17.8	11.2	6.9	10.1	14.4	16.5
精神科専門療法	33.2	20.9	2.8	65.4	39.3	19.2	19.1
処置	189.5	472.0	39.7	64.2	382.3	364.0	258.0
手術	27.1	37.4	14.6	19.1	28.5	41.4	35.4
麻酔	5.1	13.6	0.8	2.3	6.8	8.3	13.4
放射線治療	4.3	3.4	-	0.4	6.5	6.8	3.6
病理診断	8.5	6.3	0.3	9.3	11.6	8.4	6.3
総数	720.7	855.1	490.3	597.2	895.4	824.2	759.5
初・再診	130.3	91.4	182.0	157.2	117.6	100.1	92.6
医学管理等	65.3	72.2	98.8	21.4	70.1	74.8	68.0
在宅医療	24.0	65.2	15.9	14.8	31.3	33.2	61.4
検査	112.5	103.2	62.7	120.1	122.4	116.3	105.5
画像診断	50.9	48.4	17.8	44.4	59.9	58.1	49.4
投薬	137.1	166.6	65.4	106.8	159.0	162.7	169.1
注射	35.4	51.0	3.9	18.0	51.0	44.9	49.9
リハビリテーション	6.1	8.0	7.1	4.7	5.9	7.3	7.6
精神科専門療法	19.7	9.4	1.8	44.6	23.0	9.7	8.8
処置	112.6	212.1	25.1	43.8	224.0	183.8	119.5
手術	16.1	16.8	9.2	13.0	16.7	20.9	16.4
麻酔	3.0	6.1	0.5	1.6	4.0	4.2	6.2
放射線治療	2.6	1.5	-	0.2	3.8	3.4	1.6
病理診断	5.0	2.9	0.2	6.4	6.8	4.2	2.9
総数	1.68	2.23	1.58	1.46	1.71	1.98	2.16

注:「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図5 一般医療 - 長寿医療別にみた入院外の診療行為別1日当たり点数の構成割合

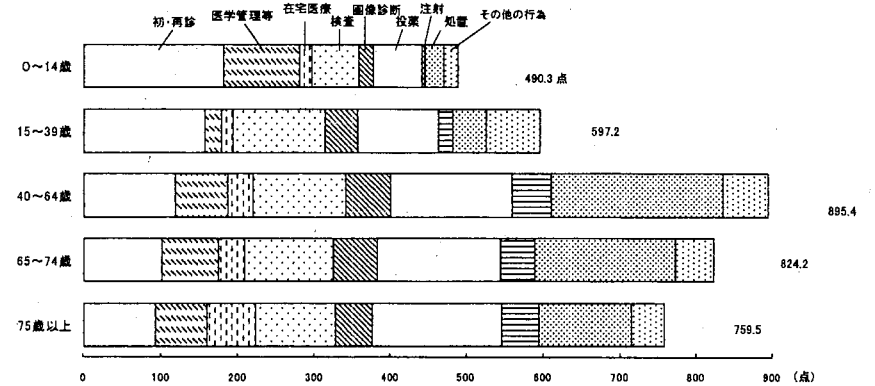
(平成20年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」「病理診断」及び「入院料等」である。

図6 年齢階級別にみた入院外の診療行為別1日当たり点数

(平成20年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」「病理診断」及び「入院料等」である。

3 病院と診療所別にみた診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は、病院 44,008.8点、診療所(有床)16,918.7点となっている。

1日当たり点数は、病院 2,582.5点、診療所(有床)1,470.1点で、病院を種類別にみると、「特定機能病院」4,844.3点が最も高く、「精神科病院」1,181.0点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、「療養病床を有する病院」は、「一般病院」と比べ「入院料等」の割合が高くなっている。

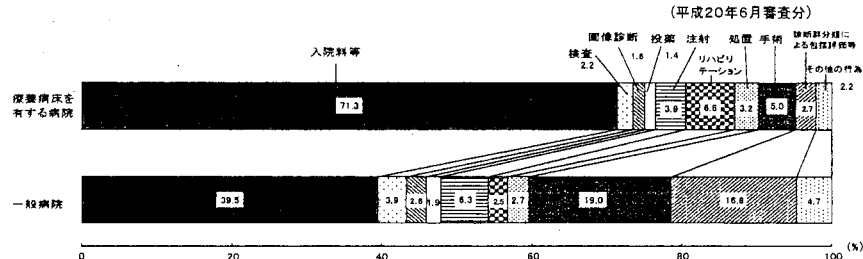
1件当たり日数は、病院 17.04日、診療所(有床)11.51日で、病院を種類別にみると、「療養病床を有する病院」21.80日、「一般病院」12.75日となっている。(表5、図7)

表5 病院 - 診療所(有床)別にみた入院の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

診療行為	総数	病院 (平成20年6月審査分)				診療所(有床)
		精神科病院	特定機能病院	療養病床を有する病院	一般病院	
		1件当たり点数				
総数*	44,008.8	34,009.3	59,306.9	41,187.2	45,800.0	16,918.7
初学再診等	45.3	5.2	32.8	31.9	61.5	27.6
在宅医療	355.7	154.5	361.9	310.6	417.5	151.6
検査	63.4	0.3	151.6	41.8	77.7	27.3
画像診断	1,311.9	363.1	820.7	906.4	1,763.4	921.9
投薬	879.5	81.1	348.0	663.9	1,203.3	351.8
注射	819.5	1,242.4	717.2	570.1	887.4	567.1
リハビリテーション	2,144.4	221.3	1,249.3	1,599.2	2,897.7	1,232.6
精神科専門療法	1,465.7	22.8	469.1	2,712.4	1,160.7	375.9
処置	242.8	1,758.9	65.7	145.6	30.7	8.5
手術	1,124.2	240.5	426.1	1,338.2	1,247.0	1,244.4
麻酔	6,157.9	16.2	14,008.6	2,046.1	8,722.3	4,017.2
放射線治療	937.2	0.0	2,396.6	319.3	1,295.4	385.1
病理診断	96.3	-	636.1	1.9	108.5	32.4
入院料等	100.2	0.6	91.3	45.8	149.5	93.0
診断群分類による包括評価等	21,887.0	29,902.3	5,192.1	29,358.5	18,074.8	7,482.2
	6,377.5	-	32,339.8	1,095.6	7,701.9	-
		1日当たり日数				
総数*	2,582.5	1,181.0	4,844.3	1,889.5	3,592.5	1,470.1
初学再診等	2.7	0.2	2.7	1.5	4.8	2.4
在宅医療	20.9	5.4	29.6	14.2	32.7	13.2
検査	3.7	0.0	12.4	1.9	6.1	2.4
画像診断	77.0	12.6	67.0	41.6	138.3	80.1
投薬	51.6	2.8	28.4	30.5	94.4	30.6
注射	48.1	43.1	58.6	26.2	69.6	49.3
リハビリテーション	125.8	7.7	102.0	73.4	227.3	107.1
精神科専門療法	86.0	0.8	36.3	124.4	91.0	32.7
処置	14.3	61.1	6.7	5.4	2.4	0.7
手術	66.0	8.4	34.8	61.4	97.8	106.1
麻酔	361.4	0.6	1,144.3	93.9	664.2	348.0
放射線治療	55.0	0.0	195.8	14.6	101.6	33.5
病理診断	5.6	-	52.0	0.1	8.5	2.8
入院料等	5.9	0.0	7.5	2.1	11.7	8.1
診断群分類による包括評価等	1,284.3	1,038.3	424.1	1,346.9	1,417.8	650.1
	374.2	-	2,641.6	50.3	604.1	-
		1件当たり日数				
入院時食事療養等(単位:円)	17.04	28.80	12.24	21.80	12.75	11.51
1件当たり金額	29,864	55,298	19,613	40,208	20,534	17,177
1日当たり金額	1,752	1,920	1,602	1,845	1,611	1,492

注:「総数*」には「入院時食事療養等」を含まない。

図7 療養病床を有する病院 - 一般病院別にみた入院の診療行為別1日当たり点数の構成割合



注:「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」「放射線治療」及び「病理診断」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は、病院 1,554.3点、診療所 1,289.6点となっている。

1日当たり点数は、病院 973.4点、診療所 672.7点で、病院を種類別にみると、「特定機能病院」1,386.5点が最も高く、「療養病床を有する病院」1,741.2点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、診療所は、病院と比べ「初・再診」「医学管理等」「処置」の割合が高く、「検査」「画像診断」の割合は低くなっている。

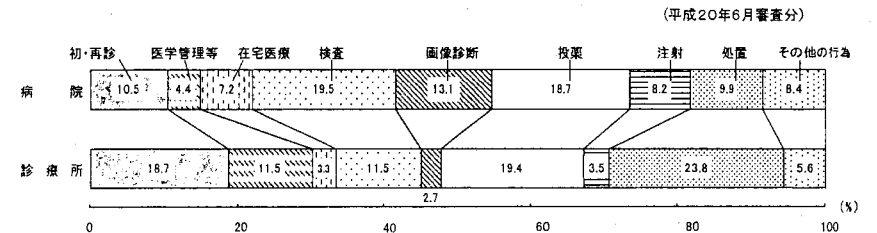
1件当たり日数は、病院 1.60日、診療所 1.92日となっている。(表6、図8)

表6 病院 - 診療所別にみた入院外の診療行為別1件当たり点数・1日当たり日数

診療行為	総数	病院 (平成20年6月審査分)				診療所
		精神科病院	特定機能病院	療養病床を有する病院	一般病院	
		1件当たり点数				
総数*	1,554.3	1,725.6	1,817.2	1,404.8	1,574.4	1,289.6
初学再診等	163.3	143.0	112.4	194.4	158.0	241.1
在宅医療	68.0	30.4	47.3	76.0	69.0	148.3
検査	112.1	5.2	248.3	80.6	112.7	42.4
画像診断	302.3	56.8	402.1	225.1	331.8	148.1
投薬	204.0	16.9	273.0	149.0	225.8	35.4
注射	291.2	588.2	285.2	329.7	263.5	250.5
リハビリテーション	127.9	9.6	270.4	74.6	137.0	45.1
精神科専門療法	17.8	1.0	5.0	31.2	14.7	9.3
処置	43.8	872.4	24.4	47.4	8.4	23.6
手術	154.1	0.8	27.5	163.4	172.5	306.9
放射線治療	35.5	0.5	46.5	16.8	43.2	26.6
病理診断	6.1	0.8	7.4	6.8	5.9	7.6
入院料等	12.2	-	47.3	1.1	13.0	0.1
診断群分類による包括評価等	15.5	0.0	20.4	8.8	18.3	4.3
		1日当たり日数				
総数*	973.4	840.1	1,386.5	741.2	1,055.0	672.7
初学再診等	102.3	69.6	85.7	102.6	105.9	125.8
在宅医療	42.6	14.8	36.1	40.1	46.2	77.4
検査	70.2	2.5	189.4	42.5	75.6	22.1
画像診断	189.3	27.6	306.8	118.8	222.3	77.3
投薬	127.8	9.2	208.3	78.6	151.3	18.4
注射	182.4	286.4	217.6	174.0	176.6	130.7
リハビリテーション	80.1	4.7	206.3	39.3	91.8	23.5
精神科専門療法	11.1	0.5	3.8	16.5	9.9	4.8
処置	27.4	424.7	18.6	25.0	5.6	12.3
手術	96.5	0.4	21.0	86.2	115.6	160.1
放射線治療	22.2	0.3	35.5	8.9	28.9	13.9
病理診断	3.8	0.4	5.7	3.6	3.9	4.0
入院料等	7.7	-	36.1	0.6	8.7	0.1
診断群分類による包括評価等	9.7	0.0	15.5	4.6	12.2	2.2
		1件当たり日数				
総数*	1.60	2.05	1.31	1.90	1.49	1.92

注:「総数*」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図8 病院 - 診療所別にみた入院外の診療行為別1日当たり点数の構成割合



注:「その他の行為」は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」「病理診断」及び「入院料等」である。

4 DPCに係る明細書とDPCに係る明細書以外別にみた診療行為の状況

入院におけるDPCに係る明細書をみると、1件当たり点数は 52,848.1 点で、前年に比べ 1,766.9 点、3.5%増加している。

1日当たり点数は 4,927.8 点で、前年に比べ 132.2 点、2.8%増加している。

1件当たり日数は 10.72 日で、前年に比べ 0.07 日増加している。(表7、図9・10)

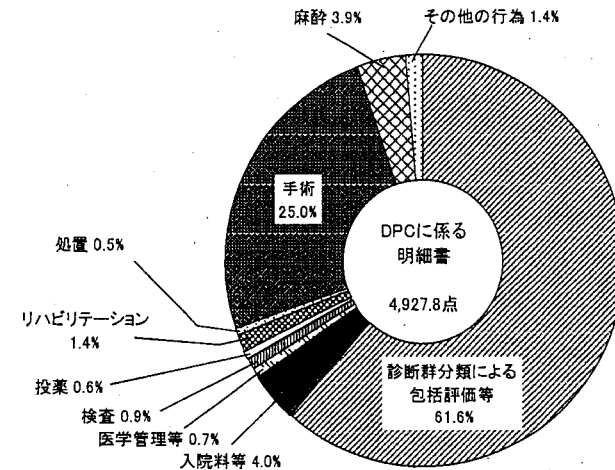
表7 DPCに係る明細書 - DPCに係る明細書以外別にみた入院の診療行為別
1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

診療行為	平成20年(2008)		平成19年(2007)		増減点数		増減率(%)	
	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外
1 件 当 たり 点 数								
総 数	52 848.1	40 040.7	51 081.3	37 735.0	1 766.9	2 305.7	3.5	6.1
初 再 診	60.1	40.6	62.8	43.6	△ 2.6	△ 3.0	△ 4.2	△ 6.9
医 学 管 理 等	384.3	334.5	350.2	322.8	34.0	11.7	9.7	3.6
在 宅 医 療	103.7	51.7	105.0	61.1	△ 1.3	△ 9.4	△ 1.2	△ 15.5
検 査	466.4	1 474.7	546.2	1 668.7	△ 79.8	△ 194.0	△ 14.6	△ 11.6
画 像 診 断	116.5	1 013.6	94.3	1 072.3	22.2	△ 58.7	23.6	△ 5.5
投 薬	342.5	909.0	369.1	892.9	△ 26.6	16.1	△ 7.2	1.8
注 射	120.7	2 535.6	128.0	2 451.2	△ 7.3	84.4	△ 5.7	3.4
リハビリテーション	715.5	1 556.1	582.6	1 393.5	133.0	162.7	22.8	11.7
精神科専門療法	4.6	279.7	7.7	240.8	△ 3.1	38.8	△ 40.2	16.1
処 置	276.5	1 324.6	214.6	1 171.5	61.9	153.2	28.9	13.1
手 術	13 232.7	4 402.8	11 844.7	4 225.0	1 388.0	177.8	11.7	4.2
麻 酔	2 079.4	638.8	1 894.8	609.9	194.6	28.9	10.3	4.7
放 射 線 治 療	244.7	58.1	326.7	154.3	△ 82.0	△ 96.2	△ 25.1	△ 62.4
病 理 診 断	72.2	106.0
入 院 料 等	2 092.8	25 314.8	2 083.3	23 427.4	9.5	1 887.4	0.5	8.1
診断群分類による 包括評価等	32 534.9	-	32 482.1	-	52.7	-	0.2	-
1 日 当 たり 点 数								
総 数	4 927.8	2 216.2	4 795.7	2 230.6	132.2	△ 14.4	2.8	△ 0.6
初 再 診	5.6	2.2	5.9	2.6	△ 0.3	△ 0.3	△ 4.9	△ 12.8
医 学 管 理 等	35.8	18.5	32.9	19.1	3.0	△ 0.6	9.0	△ 3.0
在 宅 医 療	9.7	2.9	9.9	3.6	△ 0.2	△ 0.8	△ 1.9	△ 20.8
検 査	43.5	81.6	51.3	98.6	△ 7.8	△ 17.0	△ 15.2	△ 17.3
画 像 診 断	10.9	56.1	8.9	63.4	2.0	△ 7.3	22.7	△ 11.5
投 薬	31.9	50.3	34.6	52.8	△ 2.7	△ 2.5	△ 7.8	△ 4.7
注 射	11.3	140.3	12.0	144.9	△ 0.8	△ 4.6	△ 6.4	△ 3.1
リハビリテーション	66.7	86.1	54.7	82.4	12.0	3.8	22.0	4.6
精神科専門療法	0.4	15.5	0.7	14.2	△ 0.3	1.2	△ 40.6	8.7
処 置	25.8	73.3	20.1	69.2	5.6	4.1	28.0	5.9
手 術	1 233.9	243.7	1 112.0	249.7	121.9	△ 6.1	11.0	△ 2.4
麻 酔	193.9	35.4	177.0	36.1	16.9	△ 0.7	9.6	△ 1.9
放 射 線 治 療	22.8	3.2	30.7	9.1	△ 7.9	△ 5.9	△ 25.6	△ 64.8
病 理 診 断	6.7	5.9
入 院 料 等	195.1	1 401.1	195.6	1 384.8	△ 0.4	16.3	△ 0.2	1.2
診断群分類による 包括評価等	3 033.7	-	3 049.5	-	△ 15.8	-	△ 0.5	-
1 件 当 たり 日 数								
	10.72	18.07	10.65	16.92				

注：DPCに係る明細書とは、医科入院医療機関別包括評価用診療報酬明細書(以下、「DPC明細書」という。)及びDPC明細書に
総括された医科入院診療報酬明細書である。

図9 診療行為別にみたDPCに係る明細書の1日当たり点数の構成割合

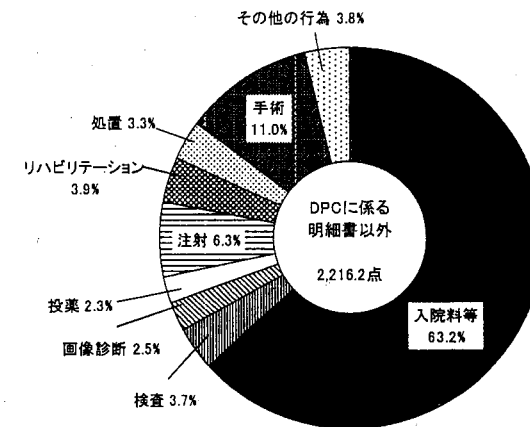
(平成20年6月審査分)



注：1) DPCに係る明細書とは、医科入院医療機関別包括評価用診療報酬明細書(以下、「DPC明細書」という。)及び
DPC明細書に総括された医科入院診療報酬明細書である。
2) 「その他の行為」は、「初・再診」「在宅医療」「画像診断」「注射」「精神科専門療法」「放射線治療」及び「病理診断」である。

図10 診療行為別にみたDPCに係る明細書以外の1日当たり点数の構成割合

(平成20年6月審査分)



注：1) DPCに係る明細書とは、医科入院医療機関別包括評価用診療報酬明細書(以下、「DPC明細書」という。)及び
DPC明細書に総括された医科入院診療報酬明細書である。
2) 「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」「放射線治療」及び「病理診断」である。

5 傷病分類別にみた1日当たり点数

入院における傷病分類別1日当たり点数は「VII 眼及び付属器の疾患」が一般医療、長寿医療ともに最も高く、それぞれ5,199.0点、5,687.6点となっている。

入院外では「XIV 腎尿路生殖器系の疾患」が一般医療、長寿医療ともに最も高く、それぞれ1,950.2点、2,521.3点となっている。(表8)

表8 入院 - 入院外・一般医療 - 長寿医療別にみた傷病分類別1日当たり点数

(平成20年6月審査分)

傷病分類	入院外			
	一般医療	長寿医療	一般医療	長寿医療
総数	2 781.1	2 327.2	720.7	855.1
I 感染症及び寄生虫症	3 298.0	2 627.4	582.3	577.0
II 新生物	4 253.9	3 145.0	1 775.0	1 636.7
結腸の悪性新生物 (再掲)	4 863.1	3 275.1	2 004.8	1 170.8
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物 (再掲)	4 978.5	2 867.9	2 573.6	1 095.6
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	3 359.1	3 202.8	2 171.7	1 658.0
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4 602.7	4 614.6	1 562.6	1 011.5
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	2 576.1	1 975.3	922.2	894.1
糖尿病 (再掲)	2 510.8	2 005.4	1 157.9	1 039.6
V 精神及び行動の障害	1 205.8	1 227.4	649.0	678.1
統合失調症、統合失調症型障害及び変性障害 (再掲)	1 175.7	1 129.8	799.5	697.5
気分[感情]障害(躁うつ病を含む) (再掲)	1 307.8	1 324.2	606.4	661.0
VI 神経系の疾患	1 985.6	1 644.2	665.7	817.7
VII 眼及び付属器の疾患	5 199.0	5 687.6	568.8	645.4
白内障 (再掲)	6 020.1	6 044.8	786.1	677.1
VIII 耳及び乳突突起の疾患	4 698.7	2 649.2	447.4	395.8
IX 循環器系の疾患	4 338.9	2 441.6	755.2	744.9
高血圧性疾患 (再掲)	2 501.4	1 725.5	715.1	724.0
虚血性心疾患 (再掲)	9 668.0	5 103.2	922.9	791.3
脳梗塞 (再掲)	2 743.3	1 952.4	809.6	721.4
X 呼吸器系の疾患	3 415.8	2 506.2	474.5	886.6
肺炎 (再掲)	3 100.2	2 532.3	807.8	1 048.7
急性気管支炎及び急性細気管支炎 (再掲)	3 641.5	2 321.9	475.7	546.3
喘息 (再掲)	3 037.7	2 378.1	543.9	896.3
XI 消化器系の疾患	3 632.2	2 919.8	718.3	669.2
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	2 861.9	2 543.9	401.3	370.0
皮膚炎及び湿疹 (再掲)	2 652.7	1 934.3	401.2	353.8
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	3 438.1	2 267.2	416.4	385.8
関節症 (再掲)	3 749.9	3 543.7	373.0	389.0
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	3 430.0	2 726.6	1 950.2	2 521.3
腎不全 (再掲)	3 148.2	2 806.0	3 090.7	3 002.0
尿路結石症 (再掲)	5 541.8	3 606.1	1 165.1	935.4
XV 妊娠、分娩及び産じょく	3 050.6	-	527.2	-
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	3 091.6	2 493.1	491.6	498.5
骨折 (再掲)	3 057.6	2 471.7	520.5	497.0
その他の傷病	3 598.1	2 120.6	725.8	648.7

注: 1) 傷病分類は、「疾病、傷害及び死因の統計分類」(ICD-10(2003年版))を準用した。
 2) 「その他の傷病」は、「周産期に発生した病態」「先天奇形、変形及び染色体異常」及び「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」である。

【歯科診療】

6 診療行為の状況

1件当たり点数は1,285.5点で、前年に比べ54.2点、4.0%減少している。

1日当たり点数は607.4点で、前年に比べ0.6点、0.1%増加している。診療行為別にみると、「歯冠修復及び欠損補綴」260.2点(構成割合42.8%)が最も高く、次いで「処置」99.2点(16.3%)、「医学管理等」74.9点(12.3%)の順となっている。

1件当たり日数は2.12日、前年に比べ0.09日減少している。(表9、図11)

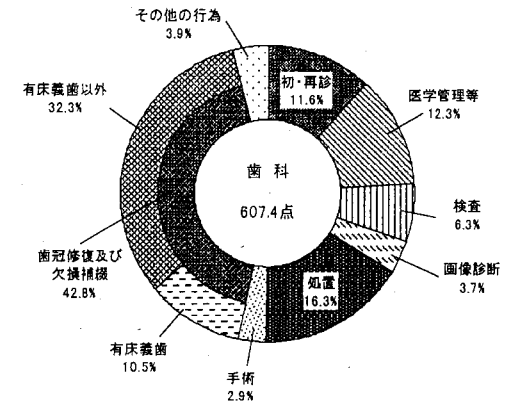
表9 診療行為別にみた1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成20年(2008)	平成19年(2007)	対前年		平成20年(2008)	平成19年(2007)	対前年	
			増減点数	増減率(%)			増減点数	増減率(%)
総数	1 285.5	1 339.8	△ 54.2	△ 4.0	607.4	606.8	0.6	0.1
初・再診	149.2	152.7	△ 3.5	△ 2.3	70.5	69.2	1.3	1.9
医学管理等	158.6	126.0	32.6	25.8	74.9	57.1	17.9	31.3
在宅医療	11.2	10.0	1.2	12.3	5.3	4.5	0.8	17.2
検査	80.6	79.7	0.9	1.1	38.1	36.1	2.0	5.5
画像診断	48.0	49.1	△ 1.0	△ 2.1	22.7	22.2	0.5	2.1
投薬	21.8	23.5	△ 1.7	△ 7.3	10.3	10.6	△ 0.4	△ 3.3
注射	1.2	1.1	0.1	4.8	0.6	0.5	0.0	9.3
リハビリテーション	0.2	0.1	0.1	67.3	0.1	0.1	0.0	74.6
処置	210.0	225.6	△ 15.6	△ 6.9	99.2	102.2	△ 3.0	△ 2.9
手術	37.9	41.3	△ 3.4	△ 8.3	17.9	18.7	△ 0.8	△ 4.3
麻酔	3.4	2.9	0.5	18.4	1.6	1.3	0.3	23.5
放射線治療	0.3	0.2	0.1	89.1	0.1	0.1	0.1	97.3
歯冠修復及び欠損補綴	550.7	619.2	△ 68.5	△ 11.1	260.2	280.4	△ 20.2	△ 7.2
歯科矯正	2.3	0.4	1.9	477.2	1.1	0.2	0.9	502.1
病理診断	0.7	0.3
入院料等	9.5	7.9	1.5	19.4	4.5	3.6	0.9	24.6
(1件当たり日数)	(2.12)	(2.21)						

図11 診療行為別にみた1日当たり点数の構成割合

(平成20年6月審査分)



注: 「その他の行為」は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」「病理診断」及び「入院料等」である。

7 一般医療と長寿医療別に見た診療行為の状況

1件当たり点数は、一般医療 1,238.1 点、長寿医療 1,629.8 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 595.9 点、長寿医療 679.8 点で、年齢階級別にみると、「75歳以上」678.4 点が最も高く、次いで「15～39歳」617.8 点となっており、「0～14歳」494.6 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、長寿医療は、一般医療と比べ「歯冠修復及び欠損補綴」の割合が高く、「処置」の割合が低くなっている。

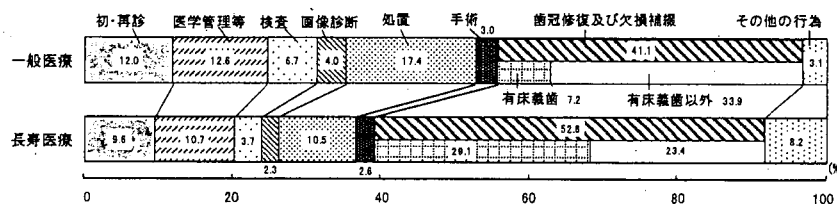
1件当たり日数は、一般医療 2.08 日、長寿医療 2.40 日となっている。(表 10、図 12)

表 10 一般医療 - 長寿医療 - 年齢階級別に見た診療行為別 1 件当たり点数・1 日当たり点数・1 件当たり日数

診療行為	一般医療	長寿医療	年齢階級					
			1 件 当 た り 点 数					
			0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上	
総点数	1,238.1	1,629.8	494.6	617.8	1,238.2	1,295.1	1,413.6	1,623.9
総初診	148.3	156.2	184.4	147.2	143.1	150.9	155.2	
学管理	156.5	173.8	132.4	151.0	159.7	171.8	174.9	
在宅医療	1.4	82.6	-	-	1.4	8.1	80.2	
検査	83.5	59.5	26.2	99.6	92.7	79.2	60.1	
画像診断	49.6	36.9	23.5	72.7	47.8	40.8	36.4	
投薬	21.3	25.0	8.8	23.3	22.9	23.4	25.3	
放射線	1.0	2.5	0.1	1.2	1.0	1.5	2.5	
リハビリテーション	0.2	0.5	0.2	0.1	0.1	0.4	0.5	
処置	215.5	170.7	113.9	245.1	229.0	213.3	170.4	
手術	37.3	41.9	25.0	40.1	37.8	40.7	42.3	
歯冠修復	3.5	2.7	3.4	5.2	3.0	2.5	2.7	
歯冠修復及び欠損補綴	0.2	1.2	-	0.1	0.2	0.4	1.2	
歯科矯正	508.5	856.6	300.6	433.3	547.6	668.4	852.4	
病理診断	2.6	0.0	1.8	8.5	0.5	0.0	0.0	
入院	0.6	1.1	0.1	0.4	0.6	1.3	1.1	
その他	8.2	18.7	2.7	10.4	7.5	10.8	18.7	
1 日 当 た り 点 数	595.9	679.8	494.6	617.8	602.9	607.9	678.4	
総初診	71.4	65.1	101.3	73.5	66.6	64.9	64.9	
学管理	75.3	72.5	81.5	75.3	74.4	73.9	73.1	
在宅医療	0.7	34.4	-	-	0.7	3.5	33.5	
検査	40.2	24.8	16.1	49.7	43.2	34.1	25.1	
画像診断	23.9	15.4	14.5	36.3	22.3	17.5	15.2	
投薬	10.3	10.4	5.4	11.6	10.6	10.1	10.6	
放射線	0.5	1.0	0.1	0.6	0.5	0.6	1.1	
リハビリテーション	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	
処置	103.7	71.2	70.1	122.3	106.6	91.7	71.2	
手術	18.0	17.5	15.4	20.0	17.6	17.5	17.7	
歯冠修復	1.7	1.1	2.1	2.6	1.4	1.1	1.1	
歯冠修復及び欠損補綴	0.1	0.5	-	0.0	0.1	0.2	0.5	
歯科矯正	244.7	357.3	185.1	216.2	254.9	287.5	356.1	
病理診断	1.3	0.0	1.1	4.2	0.3	0.0	0.0	
入院	0.3	0.4	0.0	0.2	0.3	0.5	0.4	
その他	4.0	7.8	1.7	5.2	3.5	4.7	7.8	
1 件 当 た り 日 数	2.08	2.40	1.62	2.00	2.15	2.33	2.39	

図 12 一般医療 - 長寿医療別に見た診療行為別 1 日当たり点数の構成割合

(平成 20 年 6 月 審査分)



注: 「その他の行為」は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」「病理診断」及び「入院料等」である。

8 傷病分類別に見た 1 日当たり点数

1日当たり点数は「新生物」が一般医療、長寿医療ともに最も高く、それぞれ 1,994.0 点、2,205.5 点となっている。次いで「顎、口腔の嚢胞」が高く、それぞれ 1,855.8 点、1,593.1 点となっている。(表 11)

表 11 一般医療 - 長寿医療別に見た傷病分類別 1 日当たり点数 (平成 20 年 6 月 審査分)

傷病分類	一般医療	長寿医療
総数	595.9	679.8
う蝕	617.2	732.0
感染を伴わない歯牙慢性硬組織疾患	338.0	423.2
歯髓炎等	543.8	538.8
根尖性歯周炎(歯根膜炎)等	497.4	559.9
歯肉炎	506.6	103.6
歯周炎等	537.7	554.6
歯冠周囲炎	410.7	762.1
顎、口腔の炎症及び腫瘍	826.1	970.4
顎、口腔の先天奇形及び発育障害	704.8	1,230.9
顎機能異常	631.3	509.6
顎、口腔の嚢胞	1,855.8	1,593.1
顎骨疾患等	743.3	1,078.6
口腔粘膜疾患	259.1	314.3
新生物	1,994.0	2,205.5
口腔、顔面外傷及び癒合障害等	735.4	561.9
補綴関係(歯の補綴)	876.8	820.0
その他	828.3	629.6

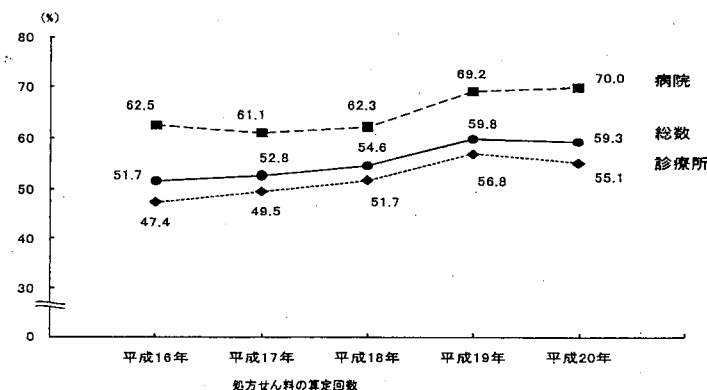
注: 傷病分類は、「疾病、傷害及び死因の統計分類」(I0D-10(2003年版))を使用した。

9 院外処方率

院外処方率は、総数で 59.3% となっており、前年に比べ 0.6 ポイント低下している。これを病院・診療所別にみると、病院 70.0%、診療所 55.1% となっており、前年に比べ病院は 0.8 ポイント上昇しており、診療所は 1.8 ポイント低下している。(図 13)

図 13 病院 - 診療所別に見た医科の院外処方率の年次推移

(各年 6 月 審査分)



注: 院外処方率 = (処方せん料の算定回数 / (処方料 + 処方せん料)の算定回数) × 100

〔薬局調剤〕

10 調剤行為の状況

1件当たり点数は 1,012.2 点で、前年に比べ 11.8 点、1.2%増加している。
 処方せんの受付1回当たり点数は 731.4 点で、前年に比べ 20.8 点、2.9%増加している。調剤行為別
 にみると、「薬剤料」532.8 点が最も高く、次いで「調剤技術料」162.1 点、「薬学管理料」35.4 点となっ
 ている。

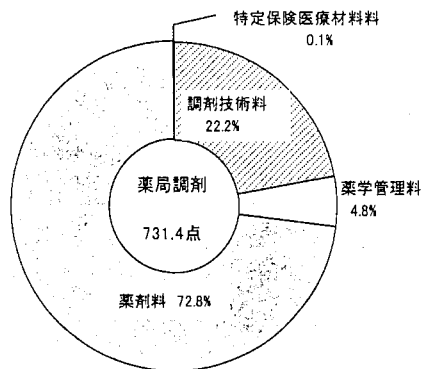
1件当たり受付回数は1.38 回で、前年に比べ0.02 回減少している。(表12、図14)

表12 調剤行為別みた1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

調剤行為	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	対前年	
			増減点数	増減率(%)
			1件当たり点数	
総数	1 012.2	1 000.4	11.8	1.2
調剤技術料	224.3	216.7	7.6	3.5
薬学管理料	49.0	52.5	△ 3.5	△ 6.7
薬剤料	737.4	729.6	7.7	1.1
特定保険医療材料料	1.5	1.5	0.0	2.9
受付1回当たり点数				
総数	731.4	710.5	20.8	2.9
調剤技術料	162.1	153.9	8.2	5.3
薬学管理料	35.4	37.3	△ 1.9	△ 5.1
薬剤料	532.8	518.2	14.5	2.8
特定保険医療材料料	1.1	1.0	0.0	4.6
1件当たり受付回数				
	1.38	1.41		

図14 調剤行為別みた受付1回当たり点数の構成割合

(平成20年6月審査分)



11 一般医療と長寿医療別みた調剤行為の状況

1件当たり点数は、一般医療 875.5 点、長寿医療 1,424.9 点、受付1回当たり点数は、一般医療 655.5 点、長寿医療 931.2 点となっており、いずれも長寿医療が高くなっている。受付1回当たり点数の調剤行為別の構成割合をみると、「薬剤料」の割合が一般医療 71.4%、長寿医療 75.6%となっている。

年齢階級別にみると、年齢が高くなるにつれて1件当たり点数、受付1回当たり点数ともに高くなっている。(表13、図15・16)

表13 一般医療 - 長寿医療 - 年齢階級別みた調剤行為別1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

調剤行為	総数	一般医療	長寿医療	年齢階級				
				1件当たり点数				
				0~14歳	15~39歳	40~64歳	65~74歳	75歳以上
総数	1 012.2	875.5	1 424.9	515.5	636.6	982.9	1 185.3	1 404.0
調剤技術料	224.3	200.9	295.2	187.6	167.0	203.8	236.0	293.1
薬学管理料	49.0	48.5	50.3	56.9	44.4	45.9	49.8	49.9
薬剤料	737.4	624.8	1 077.0	270.2	424.7	731.4	898.0	1 056.7
特定保険医療材料料	1.5	1.3	2.2	0.7	0.4	1.8	1.5	2.2
受付1回当たり点数								
総数	731.4	655.5	931.2	353.8	506.5	756.8	861.8	921.9
調剤技術料	162.1	150.4	193.0	128.7	132.9	156.9	171.6	192.4
薬学管理料	35.4	36.3	32.9	39.1	35.4	35.3	36.2	32.8
薬剤料	532.8	467.8	703.9	185.5	337.9	583.2	652.9	695.1
特定保険医療材料料	1.1	0.9	1.5	0.5	0.3	1.4	1.1	1.5
1件当たり受付回数								
	1.38	1.34	1.53	1.46	1.26	1.30	1.38	1.52

図15 一般医療 - 長寿医療別みた調剤行為別受付1回当たり点数の構成割合

(平成20年6月審査分)

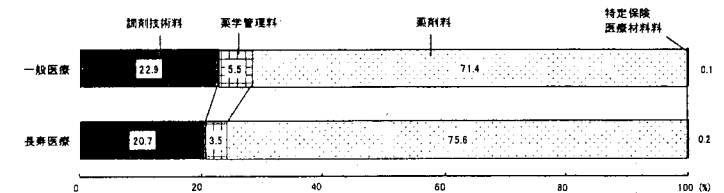
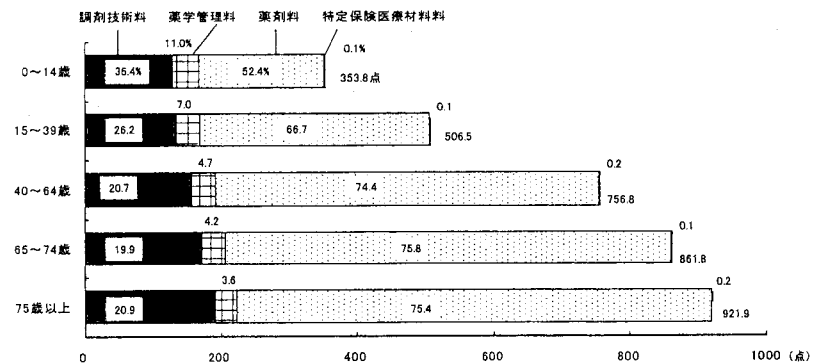


図16 年齢階級別みた調剤行為別受付1回当たり点数

(平成20年6月審査分)



II 薬剤の使用状況

1 薬剤料の比率

医科総点数に薬局調剤分を合算して求めた薬剤料の割合は、総数 29.0%、入院 11.1%、入院外 36.2%となっており、そのうち、「投薬」及び「注射」で使用された薬剤料の割合は、それぞれ、27.3%、9.4%、34.4%となっている。

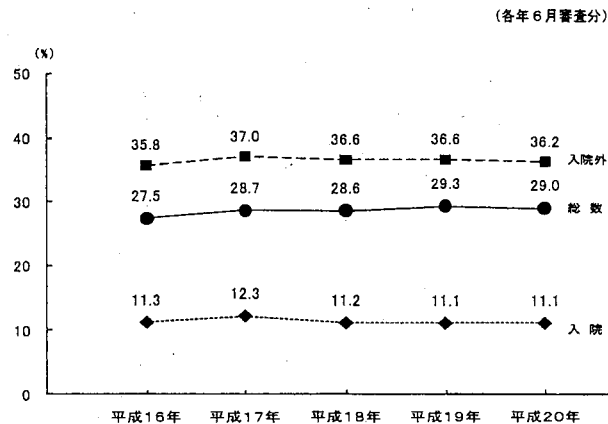
前年と比較すると、医科総点数に薬局調剤分を合算して求めた薬剤料の割合は、総数では 0.3 ポイント、入院では 0.03 ポイント、入院外では 0.4 ポイント低下している。(表14、図17)

表14 入院 - 入院外別にみた医科(薬局調剤分を含む)の薬剤料の比率の年次推移

(単位:%)		(各年6月審査分)				
		平成16年 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	20 (2008)
医 科 (薬 局 調 剤 分 を 含 む)	総 数					
	薬剤料	27.5	28.7	28.6	29.3	29.0
	投薬・注射	25.3	26.8	26.9	27.6	27.3
	投薬	20.7	21.7	22.5	23.0	22.8
	注射	4.6	5.1	4.4	4.6	4.5
	その他	2.2	1.9	1.7	1.8	1.7
	入 院					
	薬剤料	11.3	12.3	11.2	11.1	11.1
	投薬・注射	9.4	10.4	9.4	9.4	9.4
	投薬	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6
	注射	6.9	7.9	6.9	6.8	6.8
	その他	2.0	1.9	1.8	1.8	1.7
	入 院 外					
	薬剤料	35.8	37.0	36.6	36.6	36.2
	投薬・注射	33.5	35.1	34.9	34.9	34.4
投薬	30.1	31.5	31.6	31.1	30.9	
注射	3.4	3.6	3.3	3.7	3.6	
その他	2.3	1.9	1.7	1.8	1.8	

- 注: 1) 「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCに係る明細書は除外してある。
 2) 薬局調剤分(調剤報酬明細書分)は、処方せん発行医療機関により総点数、薬剤料を合算している。
 3) 薬局調剤分(調剤報酬明細書分)の内服薬及び外用薬を「投薬」に、注射薬を「注射」に合算している。
 4) 「薬剤料」とは、総点数に占める、「投薬」「注射」及びその他の診療行為の中の薬剤点数の割合である。
 5) 「その他」とは、総点数に占める、「在宅医療」「検査」「画像診断」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「処置」「手術」及び「麻酔」の中で使用された薬剤点数の割合である。
 6) 入院時食事療養費等(円)は、点数換算(入院時食事療養費等÷10)して総点数に含めている。
 7) 医科一歯科一薬局調剤別にみた薬剤料の比率は、統計表第15表に掲載している。

図17 入院 - 入院外別にみた医科(薬局調剤分を含む)の薬剤料の比率の年次推移



2 院内処方(入院外・投薬)及び院外処方(薬局調剤)における薬剤点数

薬剤点数階級別件数の構成割合を入院外の投薬(以下「院内処方」という。)、薬局調剤(以下「院外処方」という。)別にみると、ともに「500点未満」が最も多く、それぞれ67.0%、59.4%となっている。また、年齢階級別にみると年齢が高くなるほど「500点未満」の割合が低くなっている。(表15、図18)

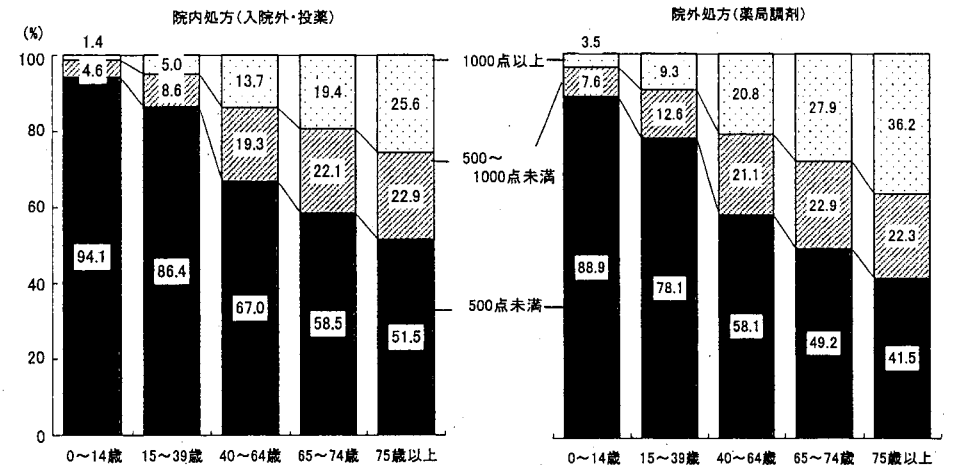
表15 院内処方 - 院外処方別にみた薬剤点数階級別件数の構成割合

(単位:%)		(平成20年6月審査分)										
		総数	500点未満					500~1000	1000~1500	1500~2000	2000点以上	
		総数	100点未満	100~200未満	200~300	300~400	400~500					
院 内 処 方 (入院外・投薬)	総数	100.0	67.0	25.9	16.1	10.9	7.8	6.4	17.7	7.3	3.4	4.6
	(100.0)	(68.2)	(25.8)	(16.6)	(11.5)	(7.8)	(6.4)	(17.2)	(7.3)	(3.1)	(4.2)	
	一般医療	100.0	72.3	29.2	17.6	11.5	7.7	6.3	16.0	5.8	2.5	3.3
	長寿医療	100.0	50.9	15.7	11.3	9.0	8.0	7.0	22.8	11.9	6.1	8.3
院 外 処 方 (薬局調剤)	総数	100.0	59.4	20.0	14.8	10.9	7.4	6.3	18.7	9.2	4.9	7.9
	(100.0)	(60.0)	(19.9)	(15.4)	(10.9)	(7.4)	(6.5)	(18.4)	(8.9)	(4.9)	(7.9)	
	一般医療	100.0	65.4	22.7	16.7	12.0	7.7	6.3	17.5	7.6	3.7	5.8
	長寿医療	100.0	41.2	11.8	9.0	7.6	6.7	6.1	22.2	13.9	8.3	14.3

- 注: 1) 院内処方は、「投薬」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。
 2) 院外処方は、「薬剤」の出現する明細書を集計の対象としている。
 3) ()内は平成19年6月審査分

図18 年齢階級別にみた薬剤点数階級別件数の構成割合

(平成20年6月審査分)



- 注: 1) 院内処方は、「投薬」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。
 2) 院外処方は「薬剤」の出現する明細書を集計の対象としている。

3 薬価階級別薬剤点数

薬価階級別薬剤点数の構成割合を院内処方、院外処方別にみると、ともに「250円未満」が最も多く、それぞれ82.1%、79.1%となっている。また、年齢階級別にみると年齢が高くなるほど「500円以上」の割合が低い傾向となっている。(表16、図19)

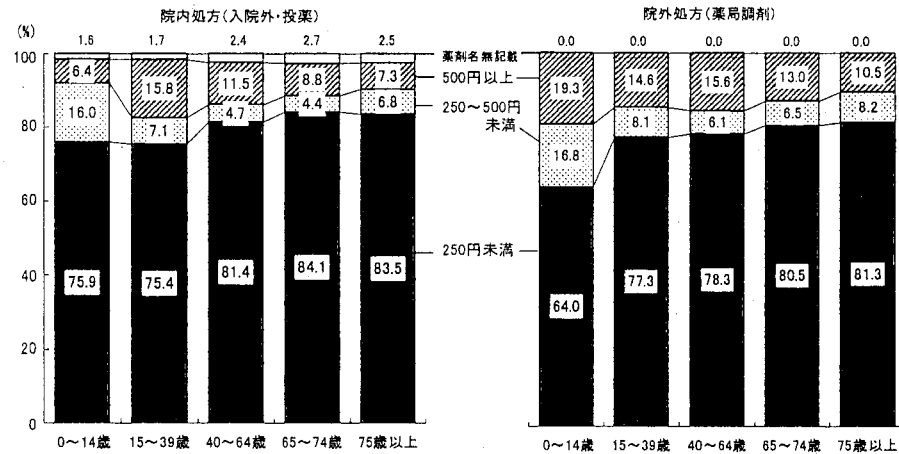
表16 院内処方 - 院外処方別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合

	総数	250円未満							250~500	500円以上	薬剤名無記載
		総数	50円未満	50~100未満	100~150	150~200	200~250				
院内処方 (入院外・投薬)	100.0 (100.0)	82.1 (82.6)	31.2 (30.9)	24.6 (24.3)	13.4 (13.5)	10.9 (12.1)	2.0 (1.7)	5.8 (6.3)	9.6 (8.5)	2.4 (2.6)	
一般医療	100.0	81.3	30.4	24.4	13.5	10.8	2.1	5.3	10.9	2.4	
長寿医療	100.0	83.7	32.6	24.9	13.2	11.1	1.8	6.7	7.2	2.4	
院外処方 (薬局調剤)	100.0 (100.0)	79.1 (80.1)	28.2 (28.3)	23.7 (23.9)	13.8 (13.8)	10.9 (11.6)	2.5 (2.6)	7.6 (7.4)	13.3 (12.5)	0.0 (0.0)	
一般医療	100.0	77.9	27.2	23.6	13.7	10.7	2.6	7.3	14.8	0.0	
長寿医療	100.0	81.2	29.8	23.8	14.1	11.3	2.3	8.2	10.6	0.0	

注:1) 院内処方は、「投薬」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。
2) ()内は平成19年6月審査分

図19 年齢階級別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合

(平成20年6月審査分)



注: 院内処方は、「投薬」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。

4 薬剤種類数

薬剤種類数別件数の構成割合を院内処方、院外処方別にみると、「1種類」、「2種類」が多くなっている。1件当たり薬剤種類数をみると、院内処方で3.57種類、院外処方で3.87種類となっている。また、年齢階級別にみると、年齢が高くなるほど「7種類以上」の割合が高い傾向となっている。(表17、図20)

表17 院内処方 - 院外処方別にみた薬剤種類数別件数の構成割合・1件当たり薬剤種類数

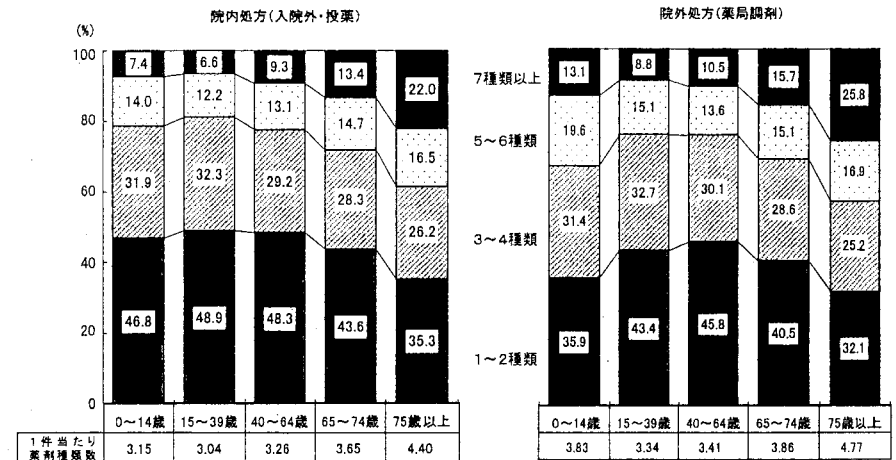
(平成20年6月審査分)

	総数	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類以上	1件あたり薬剤種類数
構成割合(単位:%)												
院内処方 (入院外・投薬)	100.0 (100.0)	22.9 (22.5)	21.2 (21.3)	16.7 (16.8)	12.3 (12.4)	8.4 (8.7)	5.8 (5.9)	3.9 (4.1)	2.8 (2.7)	1.9 (1.9)	4.0 (3.8)	3.57 (3.57)
一般医療	100.0	24.7	22.5	17.5	12.6	8.2	5.3	3.2	2.2	1.4	2.5	3.28
長寿医療	100.0	17.4	17.6	14.4	11.6	9.1	7.3	6.1	4.7	3.4	8.5	4.46
院外処方 (薬局調剤)	100.0 (100.0)	19.6 (19.4)	20.1 (20.2)	16.6 (16.6)	12.6 (12.6)	9.1 (9.3)	6.6 (6.6)	4.6 (4.6)	3.2 (3.3)	2.3 (2.4)	5.2 (5.1)	3.87 (3.87)
一般医療	100.0	21.0	21.3	17.4	13.2	9.2	6.2	4.0	2.6	1.8	3.3	3.56
長寿医療	100.0	15.4	16.4	14.3	10.8	9.0	7.9	6.3	5.0	3.9	11.0	4.81

注:1) 院内処方は、「投薬」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。
2) 院外処方は、「調剤」の出現する明細書を集計の対象としている。
3) 薬剤名無記載は、1種類としている。
4) ()内は平成19年6月審査分

図20 年齢階級別にみた薬剤種類数別件数の構成割合・1件当たり薬剤種類数

(平成20年6月審査分)



注:1) 院内処方は、「投薬」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。
2) 院外処方は「調剤」の出現する明細書を集計の対象としている。
3) 薬剤名無記載は、1種類としている。

5 薬効分類別みた薬剤の使用状況

薬効分類別薬剤点数の構成割合をみると、入院では「抗生物質製剤」が最も多く、次いで「生物学的製剤」、「中枢神経系用薬」の順となっている。院内処方では「循環器官用薬」が最も多く、次いで「その他の代謝性医薬品」が多く、院外処方では「循環器官用薬」が最も多く、次いで「中枢神経系用薬」が多い。

(表18、図21)

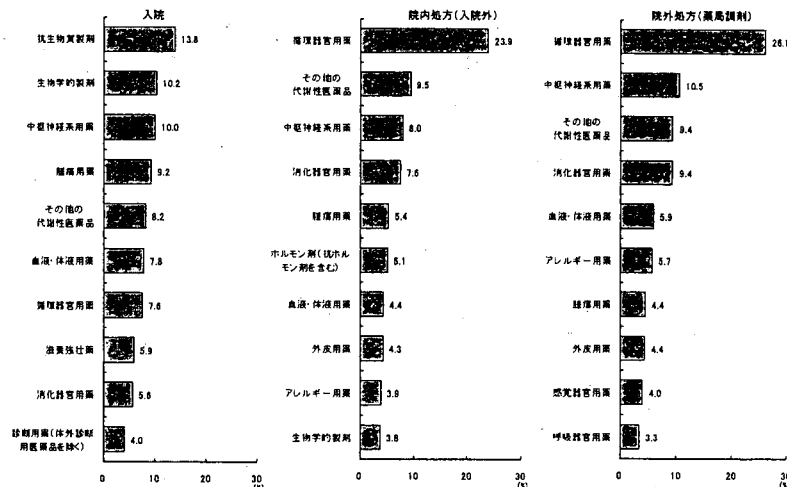
表18 入院 - 院内処方 - 院外処方別にみた薬効分類別薬剤点数の構成割合

薬効分類	入院		院内処方(入院外)		院外処方(薬局調剤)	
	平成20年(2008)	平成19年(2007)	平成20年(2008)	平成19年(2007)	平成20年(2008)	平成19年(2007)
	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中枢神経系用薬	10.0	10.0	8.0	7.9	10.5	10.1
感覚器官用薬	1.5	1.8	3.3	2.7	4.0	4.3
循環器官用薬	7.6	7.8	23.9	23.9	26.1	26.8
呼吸器官用薬	1.0	0.9	2.1	2.1	3.3	3.4
消化器官用薬	5.6	5.2	7.6	7.9	9.4	9.4
ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	1.9	1.5	5.1	7.2	2.5	2.7
外皮用薬	1.2	1.0	4.3	4.6	4.4	4.3
滋養強壮薬	5.9	6.3	0.9	0.8	1.2	1.2
血液・体液用薬	7.8	8.1	4.4	3.9	5.9	5.4
その他の代謝性医薬品	8.2	7.5	9.5	9.5	9.4	8.8
腫瘍用薬	9.2	8.5	5.4	4.4	4.4	4.6
アレルギー用薬	0.4	0.4	3.9	4.1	5.7	5.5
抗生物質製剤	13.8	14.7	2.3	2.7	2.7	3.1
化学療法剤	3.7	3.6	3.1	3.6	3.0	3.0
生物学的製剤	10.2	9.9	3.8	1.9	0.1	0.1

注:1) 入院及び院内処方は、「薬剤」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除く。
2) 「総数」には、上記分類以外の「泌尿生殖器官及び肛門用薬」、「ビタミン剤」等の分類及び薬剤名無記載を含む。

図21 入院 - 院内処方 - 院外処方別にみた主な薬効分類別薬剤点数の割合

(平成20年6月審査分)



注: 「薬剤」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、入院及び院内処方は、「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除く。

6 後発医薬品の使用状況

薬剤点数に占める後発医薬品の点数の割合をみると、入院5.6%、院内処方9.7%、院外処方6.2%となっている。また、薬剤種類数に占める後発医薬品の種類数の割合をみると、入院17.3%、院内処方25.0%、院外処方18.3%となっている。

後発医薬品の薬効分類別薬剤点数の割合をみると、入院では「血液・体液用薬」が最も多く、院内処方及び院外処方では「循環器官用薬」が最も多くなっている。(表19、図22)

表19 入院 - 院内処方 - 院外処方別にみた後発医薬品の使用状況

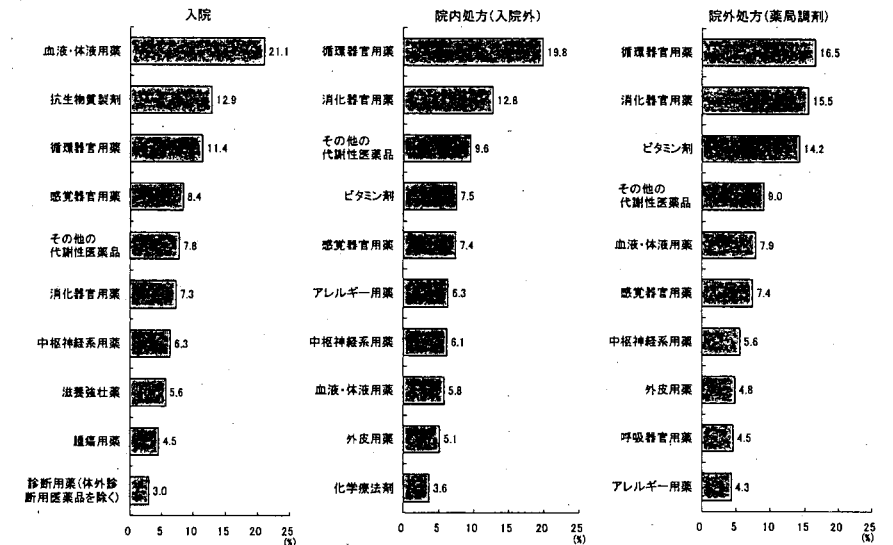
		平成18年(2006)	19(2007)	20(2008)	一般医療	長寿医療	病院	診療所
		薬剤点数に占める後発医薬品の点数の割合	総数	6.6	6.8	7.2	7.2	7.1
薬剤種類数に占める後発医薬品の種類数の割合	入院	5.1	5.2	5.6	5.5	5.8	5.4	9.6
	院内処方(入院外・投薬)	9.0	9.7	9.7	9.7	9.8	5.3	12.7
	院外処方(薬局調剤)	5.3	5.5	6.2	6.3	6.1	5.0	7.3
	総数	19.0	19.3	20.5	20.3	20.9	16.1	22.5
	入院	15.0	17.2	17.3	17.2	17.5	16.9	22.5
	院内処方(入院外・投薬)	23.9	24.5	25.0	24.7	25.8	17.3	27.7
	院外処方(薬局調剤)	16.1	16.4	18.3	18.1	18.7	15.5	19.6

注: 1) 入院及び院内処方は、「投薬」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除く。

$$2) \text{薬剤種類数に占める後発医薬品の種類数の割合} = \frac{\text{後発医薬品種類数}}{\text{薬剤種類数}} \times 100$$

図22 入院 - 院内処方 - 院外処方別にみた主な後発医薬品の薬効分類別薬剤点数の割合

(平成20年6月審査分)



注: 「薬剤」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、入院及び院内処方は、「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除く。

統計表

統計表一覧

(医科診療)

- 第1表 件数・診療実日数、入院 - 入院外・一般医療 - 長寿医療別
- 第2表 診療行為別点数、入院 - 入院外・一般医療 - 長寿医療別
- 第3表 入院の件数・診療実日数、病院 - 診療所(有床)・一般医療 - 長寿医療別
- 第4表 入院の診療行為別点数、病院 - 診療所(有床)・一般医療 - 長寿医療別
- 第5表 入院外の件数・診療実日数、病院 - 診療所・一般医療 - 長寿医療別
- 第6表 入院外の診療行為別点数、病院 - 診療所・一般医療 - 長寿医療別
- 第7表 入院の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移
- 第8表 入院外の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移
- 第9表 入院の件数・診療実日数・診療行為別点数、DPCに係る明細書 - DPCに係る明細書以外別

(歯科診療)

- 第10表 歯科の件数・診療実日数、一般医療 - 長寿医療別
- 第11表 歯科の診療行為別点数、一般医療 - 長寿医療別
- 第12表 歯科の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数、病院歯科 - 歯科診療所別
- 第13表 歯科の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移

(薬局調剤)

- 第14表 調剤行為別1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数
の年次推移

(薬剤の使用状況)

- 第15表 医科(入院 - 入院外) - 歯科 - 薬局調剤別薬剤料の比率の年次推移
- 第16表 薬効分類別薬剤点数の構成割合、入院 - 院内処方 - 院外処方別

(医科診療)

第1表 件数・診療実日数、入院 - 入院外・一般医療 - 長寿医療別
(単位:千) (平成20年6月審査分)

	総数		入院		入院外	
	件数	診療実日数	件数	診療実日数	件数	診療実日数
総数	66 632	150 491	1 998	33 397	64 634	117 093
一般医療	50 343	98 359	1 069	15 441	49 274	82 918
長寿医療	16 289	52 132	929	17 956	15 359	34 176

第2表 診療行為別点数、入院 - 入院外・一般医療 - 長寿医療別

(単位:千) (平成20年6月審査分)

診療行為	総数	入院外	
		入院	入院外
総数	173 708 170	84 730 204	88 977 966
総初診	14 016 913	88 407	13 928 506
在宅管理医療	8 564 168	686 683	7 877 485
在宅診療	4 344 445	122 451	4 221 994
画像診断	15 427 880	2 575 210	12 852 670
放射線診断	7 566 695	1 694 864	5 871 831
注射	18 666 599	1 607 636	17 058 963
リハビリテーション	8 853 167	4 176 948	4 676 219
精密検査	3 579 931	2 799 771	780 160
手術	2 413 546	457 488	1 956 058
処置	18 846 378	2 260 740	16 585 638
麻酔	13 961 019	12 051 373	1 909 645
放射線治療	2 267 739	1 807 272	460 468
入院診療	449 321	184 782	264 539
入院診療料	714 165	199 386	514 780
診断群分類による包括評価等	42 047 472	42 028 651	18 820
	11 987 993	11 987 993	.
一般医療	102 697 786	42 942 733	59 755 053
総初診	10 856 309	51 447	10 804 862
在宅管理医療	5 801 832	390 710	5 411 123
在宅診療	2 060 748	66 014	1 992 734
画像診断	10 607 305	1 282 364	9 324 941
放射線診断	5 043 724	827 258	4 216 466
注射	12 253 394	887 503	11 365 891
リハビリテーション	4 970 384	2 036 447	2 933 937
精密検査	1 572 793	1 066 528	506 265
手術	1 985 811	350 228	1 635 583
処置	10 093 857	758 286	9 335 571
麻酔	8 568 188	7 232 446	1 335 742
放射線治療	1 585 799	1 334 075	251 724
入院診療	334 782	122 245	212 537
入院診療料	552 765	135 513	417 252
診断群分類による包括評価等	18 747 888	18 737 643	10 245
	7 661 999	7 661 999	.
長寿医療	71 010 384	41 787 471	29 222 913
総初診	3 160 604	36 959	3 123 645
在宅管理医療	2 762 336	295 973	2 466 363
在宅診療	2 283 697	54 437	2 229 260
画像診断	4 820 575	1 292 847	3 527 728
放射線診断	2 522 971	867 606	1 655 365
注射	6 413 205	720 133	5 693 072
リハビリテーション	3 882 783	2 140 501	1 742 282
精密検査	2 007 138	1 733 243	273 895
手術	427 355	107 260	320 075
処置	8 752 521	1 502 454	7 250 067
麻酔	5 392 831	4 816 928	573 904
放射線治療	681 940	473 197	208 744
入院診療	114 539	62 537	52 002
入院診療料	161 401	63 873	97 528
診断群分類による包括評価等	23 299 584	23 291 009	8 575
	4 325 994	4 325 994	.
入院時食事療養等(単位:千円)			
総数	58 172 226	58 172 226	.
一般医療	26 582 054	26 582 054	.
長寿医療	31 590 172	31 590 172	.

注:「総数*」には「入院時食事療養等」を含まない。

第7表 入院の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移

(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数					1日当たり点数				
	平成16年 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	20 (2008)	平成16年 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	20 (2008)
総数	35 886.7	37 593.2	37 029.6	39 872.9	42 402.3	2 167.3	2 252.1	2 305.0	2 478.4	2 537.0
初・再診	49.0	48.9	42.2	46.4	44.2	3.0	2.9	2.8	2.9	2.6
医学管理等	311.0	329.3	300.0	328.8	343.6	18.8	19.7	18.7	20.4	20.6
在宅医療	55.8	60.0	59.5	67.5	61.3	3.4	3.6	3.7	4.2	3.7
検査	1 790.2	1 776.8	1 511.0	1 505.7	1 288.7	108.2	106.5	94.1	94.1	77.1
画像診断	1 025.9	1 034.8	894.3	930.3	848.2	62.0	62.0	55.7	58.1	50.7
投薬	811.0	829.7	789.2	816.8	804.5	49.0	49.7	49.1	51.0	48.1
注射	2 270.7	2 624.1	2 157.6	2 113.9	2 090.3	137.2	157.2	134.3	132.1	125.1
リハビリテーション	875.0	894.8	1 084.2	1 275.7	1 401.1	52.9	53.6	67.5	79.7	83.8
精神科専門療法	186.2	166.0	188.5	207.0	228.9	11.2	9.9	11.7	12.9	13.7
処置	1 093.6	1 108.5	995.0	1 032.5	1 131.4	66.1	66.4	61.9	64.5	67.7
手術	4 096.2	4 248.9	4 654.6	5 331.4	6 031.0	247.5	254.6	289.7	333.1	360.8
麻酔	598.1	711.8	783.8	795.0	904.4	36.1	42.7	48.8	49.7	54.1
放射線治療	88.4	165.6	131.5	179.3	92.5	5.3	9.9	8.2	11.2	5.5
病理診断	99.8	6.0
入院料等	21 047.0	21 319.2	20 638.6	20 328.2	21 032.8	1 271.8	1 277.5	1 284.7	1 269.9	1 258.4
診断群分類 による包括評価等	1 568.8	2 284.7	2 799.5	4 716.6	5 999.3	94.8	135.7	174.3	294.6	359.0
入院時食事療養等 (単位:円)	33 409	33 600	27 641	27 842	29 112	2 019	2 013	1 721	1 739	1 742

注:「総数」には「入院時食事療養等」を含まない。

第8表 入院外の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移

(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数					1日当たり点数				
	平成16年 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	20 (2008)	平成16年 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	20 (2008)
総数	1 278.3	1 258.4	1 235.8	1 227.5	1 376.7	680.6	678.9	665.7	680.4	759.9
初・再診	207.7	239.3	230.7	229.0	215.5	126.8	129.1	124.3	126.9	119.0
医学管理等	126.8	118.7	117.2	119.3	121.9	67.6	64.0	63.1	66.1	67.3
在宅医療	56.3	53.1	53.3	58.5	65.3	30.0	28.6	28.7	32.4	36.1
検査	202.7	200.2	195.0	197.8	198.9	108.1	108.0	105.0	108.6	109.8
画像診断	81.4	84.0	83.9	84.7	90.8	43.4	45.3	45.2	47.0	50.1
投薬	288.3	286.1	280.1	256.4	283.9	153.7	154.4	150.9	142.1	145.7
注射	64.4	68.1	60.0	66.7	72.3	34.4	36.8	32.3	37.0	39.9
リハビリテーション	11.2	11.8	13.0	8.5	12.1	6.0	6.4	7.0	4.7	6.7
精神科専門療法	25.1	26.0	30.0	23.6	30.3	13.4	14.0	16.2	13.1	16.7
処置	147.8	137.4	135.3	148.1	256.6	78.8	74.1	72.9	82.1	141.6
手術	25.0	26.5	27.4	28.1	28.5	13.3	14.3	14.7	14.5	16.3
麻酔	6.2	4.1	5.3	5.7	7.1	3.3	2.2	2.8	3.1	3.9
放射線治療	3.3	3.0	4.7	3.1	4.1	1.7	1.6	2.5	1.7	2.3
病理診断	8.0	4.4

注:「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料)」を含む。

第9表 入院の件数・診療実日数・診療行為別点数、
DPCに係る明細書 — DPCに係る明細書以外別

(単位:千)

(平成20年6月審査分)

診療行為	DPCに係る明細書		DPCに係る明細書以外	
	件数	診療実日数	件数	診療実日数
総数	10 472 733	3 952	65 257 471	29 446
初・再診	22 162	...	68 245	...
医学管理等	141 584	...	545 099	...
在宅医療	38 222	...	84 228	...
検査	171 845	...	2 403 355	...
画像診断	42 937	...	1 651 927	...
投薬	126 182	...	1 481 454	...
注射	44 462	...	4 132 487	...
リハビリテーション	263 644	...	2 536 127	...
精神科専門療法	1 707	...	455 781	...
処置	101 891	...	2 158 849	...
手術	4 875 810	...	7 175 564	...
麻酔	766 202	...	1 041 070	...
放射線治療	90 160	...	94 614	...
病理診断	28 808	...	172 780	...
入院料等	771 117	...	41 257 535	...
診断群分類 による包括評価等	11 987 993
入院時食事療養等 (単位:千円)	6 185 733	...	51 986 493	...

注: DPCに係る明細書とは、医科入院医療関係別包括評価用診療報酬明細書(以下、「DPC明細書」という。)
及びDPC明細書に附随された医科入院用診療報酬明細書である。

(歯科診療)

第10表 歯科の件数・診療実日数、一般医療 - 長寿医療別

(単位:千)

(平成20年6月審査分)

診療行為	総数		
	件数	診療実日数	診療実日数
総数	12 599	26 666	23 008
一般医療	11 074	23 008	3 658
長寿医療	1 526	3 658	...

第11表 歯科の診療行為別点数、一般医療 - 長寿医療別

(単位:千)

(平成20年6月審査分)

診療行為	総数	一般医療	長寿医療
総数*	16 196 922	13 710 054	2 486 868
初・再診	1 880 361	1 642 095	238 266
医学管理等	1 998 042	1 732 779	265 263
在宅医療	140 987	15 023	125 964
検査	1 015 007	924 179	90 828
画像診断	605 165	548 839	56 326
投薬	274 042	235 869	38 173
注射	15 105	11 266	3 839
リハビリテーション	2 617	1 846	771
処置	2 646 282	2 385 834	260 448
手術	477 340	413 441	63 898
麻酔	43 026	38 970	4 056
放射線治療	3 733	1 865	1 868
歯冠修復及び欠損補綴	6 938 163	5 631 152	1 307 011
歯科矯正	28 959	28 956	3
病理診断	8 398	6 782	1 616
入院料等	119 568	91 034	28 534
入院時食事療養等 (単位:千円)	94 550	70 634	23 916

注:「総数*」には「入院時食事療養等」を含まない。

第12表 歯科の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数、
病院歯科—歯科診療所別

(平成20年6月審査分)

診療行為	総数			病院歯科			歯科診療所		
	1件	1日	1件	1日	1件	1日	1件	1日	
総初診	1,285.5	607.4	1,385.2	750.4	1,281.0	601.8	1,281.0	601.8	
再診	149.2	70.5	158.3	85.7	148.8	70.5	148.8	70.5	
学術管理	158.6	74.9	113.8	61.6	160.6	75.4	160.6	75.4	
在宅医療	11.2	5.3	17.5	9.5	10.9	5.1	10.9	5.1	
検査	80.6	38.1	62.3	33.7	81.4	38.2	81.4	38.2	
画像診断	48.0	22.7	104.9	56.8	45.5	21.4	45.5	21.4	
投薬	21.8	10.3	50.3	27.2	20.5	9.6	20.5	9.6	
注射	1.2	0.6	27.9	15.1	-	-	-	-	
リハビリテーション	0.2	0.1	4.8	2.6	-	-	-	-	
処置	210.0	99.2	93.6	50.7	215.3	101.1	215.3	101.1	
手術	37.9	17.9	155.4	84.1	32.6	15.3	32.6	15.3	
麻酔	3.4	1.6	53.0	28.7	1.2	0.6	1.2	0.6	
放線治療	0.3	0.1	6.9	3.7	-	-	-	-	
冠修復及び欠損補綴	550.7	260.2	293.5	158.9	562.2	264.1	562.2	264.1	
歯科矯正	2.3	1.1	7.6	4.1	2.1	1.0	2.1	1.0	
病理診断	0.7	0.3	15.5	8.4	-	-	-	-	
入院料等	9.5	4.5	220.9	119.6	-	-	-	-	
1件当たり日数	2.12	1.85	-	-	2.13	-	-	2.13	

注：病院歯科とは、病院併設歯科、歯科単科病院をいう。

第13表 歯科の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移

(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数					1日当たり点数				
	平成16年(2004)	17(2005)	18(2006)	19(2007)	20(2008)	平成16年(2004)	17(2005)	18(2006)	19(2007)	20(2008)
総数	1,401.2	1,362.7	1,255.8	1,339.8	1,285.5	618.0	599.1	581.2	608.8	607.4
初診	191.9	193.2	146.5	152.7	149.2	84.7	85.0	67.8	69.2	70.5
医学管理等	114.8	113.2	126.9	128.0	158.6	50.6	49.8	58.7	57.1	74.9
在宅医療	13.4	7.4	9.1	10.0	11.2	5.9	3.2	4.2	4.5	5.3
検査	75.8	75.6	78.2	79.7	80.6	33.4	33.3	36.2	36.1	38.1
画像診断	49.7	48.9	46.7	49.1	48.0	21.9	21.5	21.6	22.2	22.7
投薬	26.6	25.4	22.3	23.5	21.8	11.7	11.2	10.3	10.6	10.3
注射	1.3	1.5	1.2	1.1	1.2	0.6	0.7	0.5	0.5	0.6
リハビリテーション	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
処置	215.7	220.7	198.5	225.6	210.0	95.1	97.0	91.8	102.2	99.2
手術	53.3	45.4	42.0	41.3	37.9	23.5	19.9	19.4	18.7	17.9
麻酔	3.4	3.6	2.9	2.9	3.4	1.5	1.6	1.4	1.3	1.6
放線治療	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
冠修復及び欠損補綴	646.3	618.7	572.5	619.2	550.7	285.1	272.0	265.0	280.4	260.2
歯科矯正	1.8	0.9	1.4	0.4	2.3	0.8	0.4	0.6	0.2	1.1
病理診断	0.7	0.3
入院料等	6.9	7.7	7.3	7.9	9.5	3.1	3.4	3.4	3.6	4.5

(薬局調剤)

第14表 調剤行為別1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数の年次推移

(各年6月審査分)

調剤行為	平成16年(2004)	17(2005)	18(2006)	19(2007)	20(2008)
	1件当たり点数				
総数	936.9	961.8	959.0	1,000.4	1,012.2
調剤技術料	217.1	217.3	219.8	216.7	224.3
薬学管理料	54.0	52.7	52.8	52.5	49.0
薬剤料	664.2	690.4	685.3	729.6	737.4
特定保険医療材料	1.4	1.3	0.9	1.5	1.5
受付1回当たり点数					
総数	649.6	672.2	666.5	710.5	731.4
調剤技術料	150.5	151.9	152.8	153.9	162.1
薬学管理料	37.4	38.8	36.7	37.3	35.4
薬剤料	460.5	482.5	476.3	518.2	532.8
特定保険医療材料	1.0	0.9	0.6	1.0	1.1
1件当たり受付回数	1.44	1.43	1.44	1.41	1.38

(薬剤の使用状況)

第15表 医科(入院-入院外) - 歯科 - 薬局調剤別薬剤料の比率の年次推移

(単位：%) (各年6月審査分)

	平成16年(2004)	17(2005)	18(2006)	19(2007)	20(2008)
	総数				
医科	21.6	22.1	21.7	21.5	20.7
投薬・注射	19.2	19.8	19.4	19.2	18.4
投薬	13.7	13.9	14.3	14.0	13.0
注射	5.4	5.9	5.1	5.2	5.4
その他	2.5	2.4	2.3	2.4	2.3
入院					
薬剤料	11.3	12.3	11.2	11.2	11.1
投薬・注射	9.4	10.4	9.4	9.4	9.4
投薬	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6
注射	6.9	7.9	6.9	6.8	6.8
その他	2.0	1.9	1.8	1.8	1.7
入院外					
薬剤料	33.2	33.5	33.0	32.5	30.9
投薬・注射	30.2	30.6	30.1	29.4	27.9
投薬	26.4	27.0	26.9	25.9	24.0
注射	3.8	3.6	3.2	3.5	3.9
その他	3.0	2.9	2.9	3.0	3.0
歯科	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0
薬局調剤	70.9	71.8	71.5	72.9	72.8

注：1) 「医科」及び「歯科」分では、「処方せん科」を算定している明細書、「投薬」「注射」を
 包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除外してある。
 2) 「薬剤料」とは、総点数に占める、「投薬」「注射」及びその他の診療行為の中の薬剤点数の
 割合である。
 3) 「その他」とは、総点数に占める、「在宅医療」「検査」「画像診断」「リハビリテーション」
 「精神科専門療法」「処置」「手術」及び「麻酔」の中で使用された薬剤点数の割合である。
 4) 入院時食事療養費等(P)は、点数換算(入院時食事療養費等÷10)して総点数に含めている。

第16表 薬効分類別薬剤点数の構成割合、入院 - 院内処方 - 院外処方別

用語の定義

薬効分類	総数			後発医薬品(再掲)		
	入院	院内処方 (入院外)	院外処方 (薬局調剤)	入院	院内処方 (入院外)	院外処方 (薬局調剤)
	(単位:%)	(平成20年6月審査分)				
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中枢神経系用薬	10.0	8.0	10.5	6.3	6.1	5.6
末梢神経系用薬	0.8	0.7	0.4	0.7	0.8	0.5
感覚器官用薬	1.5	3.3	4.0	8.4	7.4	7.4
循環器官用薬	7.6	23.9	26.1	11.4	19.8	16.5
呼吸器官用薬	1.0	2.1	3.3	1.2	2.5	4.5
消化器官用薬	5.6	7.6	9.4	7.3	12.8	15.5
ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	1.9	5.1	2.5	1.3	1.9	1.0
泌尿生殖器官及び肛門用薬	0.9	2.1	2.6	1.1	2.8	1.8
外科皮膚用薬	1.2	4.3	4.4	1.3	5.1	4.8
歯科口腔用薬	0.0	-	0.0	-	-	-
その他の個々の器官系用医薬品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ビタミン剤	0.8	2.3	2.0	2.7	7.5	14.2
滋養強壮薬	5.9	0.9	1.2	5.6	0.4	0.5
血液・体液用薬	7.8	4.4	5.9	21.1	5.8	7.9
人工透析用薬	0.5	0.6	0.1	0.2	0.5	-
その他の代謝性医薬品	8.2	9.5	9.4	7.8	9.6	9.0
細胞賦活用薬	0.0	0.0	0.0	-	-	-
腫瘍用薬	9.2	5.4	4.4	4.5	1.5	1.2
放射線性医薬品	1.7	1.0	-	1.1	0.8	-
アレルギー用薬	0.4	3.9	5.7	0.1	6.3	4.3
生薬	0.0	0.0	0.0	-	-	-
漢方製剤	0.3	1.3	1.8	-	-	-
その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品	0.0	0.0	0.0	-	-	-
抗生物質製剤	13.8	2.3	2.7	12.9	3.1	2.1
化学療法剤	3.7	3.1	3.0	1.8	3.6	3.0
生物学的製剤	10.2	3.8	0.1	-	-	-
寄生動物用薬	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0
調剤用薬	0.1	0.0	0.0	-	0.0	-
診断用薬(体外診断用医薬品を除く)	4.0	2.3	0.0	3.0	1.2	-
公衆衛生用薬	0.0	-	-	-	-	-
体外診断用医薬品	-	-	-	-	-	-
その他の治療を主目的としない医薬品	0.9	0.1	0.1	0.2	0.2	-
アルカロイド系麻薬(天然麻薬)	0.9	0.1	0.2	0.0	-	-
非アルカロイド系麻薬	1.2	0.1	0.2	-	-	-
薬剤名無記載	0.0	1.9	0.0	-	-	-

注:「薬剤」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、入院及び院内処方は、「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除く。

一般医療 : 0歳から74歳までの者(65歳以上で長寿医療制度の被保険者を除く。)が、疾病又は負傷に関して、保険医療機関又は保険薬局において受けた療養の給付並びに入院時食事療養費、入院時生活療養費の支給をいう。

長寿医療 : 高齢者の医療の確保に関する法律による後期高齢者医療(長寿医療制度)の被保険者が疾病又は負傷に関して、保険医療機関又は保険薬局において受けた療養の給付並びに入院時食事療養費、入院時生活療養費の支給をいう。

件数 : 1か月ごとに提出される明細書1枚を1件としている。外来患者が当月中に入院した場合は、入院外で1件、入院で1件となり、それぞれ1件ずつ計上している。
なお、「診療報酬明細書(医科入院医療機関別包括評価用)」を総括表として、「診療報酬明細書(医科入院医療機関別包括評価用)」若しくは「医科入院明細書」が添付されている明細書は、総括表の単位で1件とした。

診療実日数(日数) : 入院では当月中の入院日数をいい、入院外では当月中の外来、往診等で医師の診療を受けた日数をいう。

点数 : 各都道府県の支払基金支部及び国保団体連合会において審査決定された診療報酬点数及び調剤報酬点数をいう。

- 病院** :
- 精神科病院** - 精神病床のみを有する病院
 - 特定機能病院** - 高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び評価並びに高度の医療に関する研修を実施する能力を備え、かかる病院として適切な人員配置、構造設備等を有するとして厚生労働大臣の承認を受けた病院
 - 重症病床を有する病院** - 主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させる病床を有する病院
 - 一般病院** - 上記以外の病院

処方せん料 : 医療機関で投薬を行わず、保険(調剤)薬局で保険調剤を受けさせるために、患者へ処方せんを交付した場合に算定する点数をいう。

薬局調剤 : 健康保険法等に基づく療養の給付の一環として、医療機関の保険医が患者に交付した処方せんに基づき、保険薬局において保険薬剤師が行う調剤業務をいう。

受付回数 : 保険薬局で当月中に処方せんを受け付けた回数をいう。

「投薬」「注射」を
包括した診療行為

入院 — 「後期高齢者特定入院基本料」、「療養病棟入院基本料」、「有床診療所療養病床入院基本料」、「特殊疾患入院医療管理料」、「回復期リハビリテーション病棟入院料」、「亜急性期入院医療管理料」、「特殊疾患病棟入院料」、「緩和ケア病棟入院料」、「精神科救急入院料」、「精神科急性期治療病棟入院料」、「精神療養病棟入院料」、「認知症病棟入院料」、「診療所後期高齢者医療管理料」及び「診断群分類による包括評価等」

入院外 — 「小児科外来診療料」、「生活習慣病管理料」、「在宅時医学総合管理料」及び「在宅末期医療総合診療料」

薬価 — 「使用薬剤の薬価（「薬価基準」）」に記載された価格

薬剤名無記載 — 電算化が行われていないものとして届け出た保険医療機関及び保険薬局で所定単位（内服薬は1剤1日分、屯服薬は1回分、外用薬は1調剤分）当たりの薬価が175円以下（17点以下）で、明細書に個々の薬剤名の記載のないものをいう。

薬剤種類数 — 「使用薬剤の薬価（「薬価基準」）」に記載されている品名単位ごとに数えたものをいう。
なお、薬剤名無記載については1種類としている。

薬効分類 — 「日本標準商品分類」の「中分類87—医薬品及び関連製品」に準拠している。

後発医薬品 — 新医薬品等とその有効成分、分量、用法、用量、効能及び効果が同一性を有するものとして承認された医薬品（いわゆるジェネリック医薬品）

社会医療診療行為別調査（平成20年5月診療分）とメディアス（平成20年5月データ）との比較について

	1件当たり点数			
	社会医療(A)	メディアス(B)	(A)-(B)	(A)-(B)/(B)
医科入院	42,402.3	43,349.7	-947.4	-2.2%
医科入院外	1,376.7	1,258.3	118.4	9.4%
	1日当たり点数			
	社会医療(A)	メディアス(B)	(A)-(B)	(A)-(B)/(B)
医科入院	2,537.0	2,603.2	-66.2	-2.5%
医科入院外	759.9	702.3	57.6	8.2%

	1件当たり伸び率(%)		
	社会医療(A) [※]	メディアス(B) [※]	(A)-(B)
医科入院	6.9	2.9	4.0
医科入院外	12.2	△ 1.1	13.2
	1日当たり伸び率(%)		
	社会医療(A) [※]	メディアス(B) [※]	(A)-(B)
医科入院	2.4	2.2	0.2
医科入院外	11.7	1.4	10.3

※ 対前年同月比

○平成20年データにおいて、社会医療とメディアスを比較したところ、大きな乖離が生じている。

○特に入院外について乖離が大きくなっており、1件あたり伸び率で13.2%、1日あたり伸び率で10.3%の差が見られる。

○原因のひとつとして、人工腎臓（透析）を実施している内科診療所が例年に比べて多く抽出されたことが考えられている。